

パラグアイ共和国
農牧統計強化計画
アフターケア調査団報告書

平成 11 年 7 月

国際協力事業団

序 文

国際協力事業団は平成2年3月1日から5年間にわたって、パラグアイ共和国（以下、パラグアイと略す）の農業統計強化計画に係るプロジェクト方式技術協力を実施した。この計画は、パラグアイにおける平成3年農牧業センサス及び毎年の標本調査の実施に必要なシステムづくりと、技術者の養成・訓練を行ったもので、プロジェクト終了後も個別専門家派遣による協力を続けてきた。

今般パラグアイ政府は、次回農牧センサス（平成13年7月）を控え、その円滑な実施のための技術習得・実施体制確立が課題になってきたとして、パラグアイ農業統計強化計画のアフターケア協力を要請してきた。

これを受けて国際協力事業団は、平成11年6月13～28日まで、農林水産省統計情報部 山岸良雄氏を団長とするアフターケア調査団を現地に派遣した。この結果、平成12年4月から2年間にわたってアフターケア協力を行うことが、パラグアイ側と合意された。

本報告書は、同調査団の調査・協議結果を取りまとめたもので、今後のプロジェクト展開に広く活用されることを望むものである。

ここに、本調査にご協力いただいた外務省、農林水産省、在パラグアイ日本大使館など、内外関係各機関の方々に深く謝意を表するとともに、引き続き一層のご支援をお願いする次第である。

平成11年7月

国際協力事業団

農業開発協力部

部長 鮫島 信行

写 真

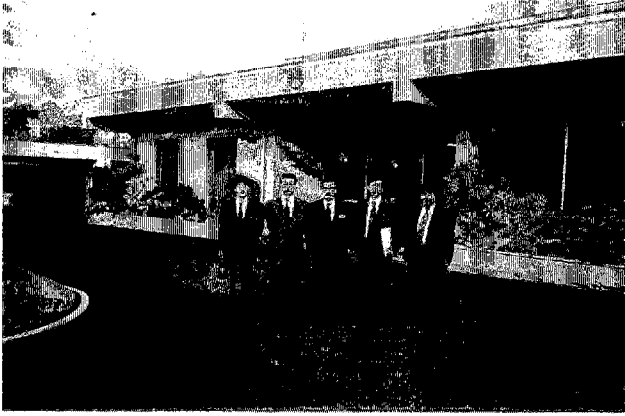


写真1 在パラグアイ日本大使館で



写真2 パラグアイ企画庁での協議

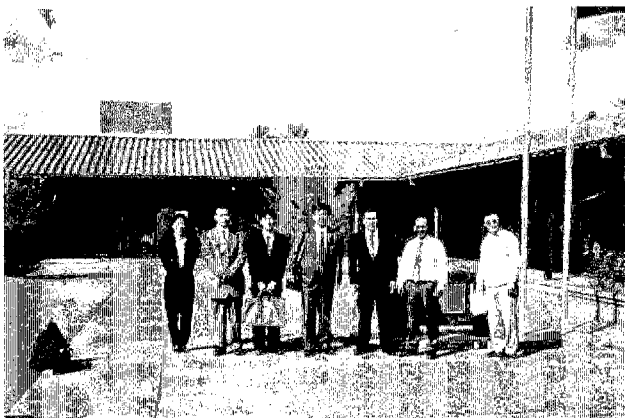


写真3 パラグアイ農牧省センサス
統計局で

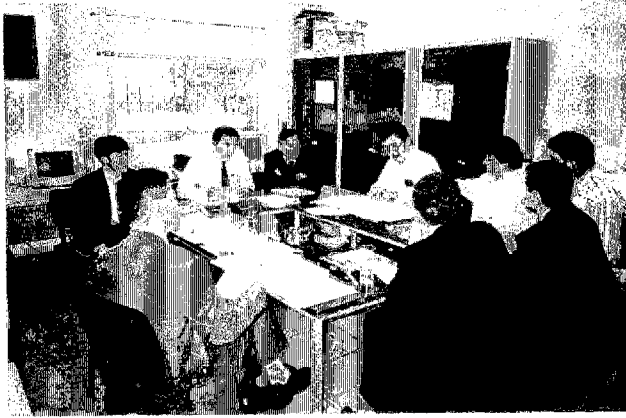


写真4 センサス統計局での協議

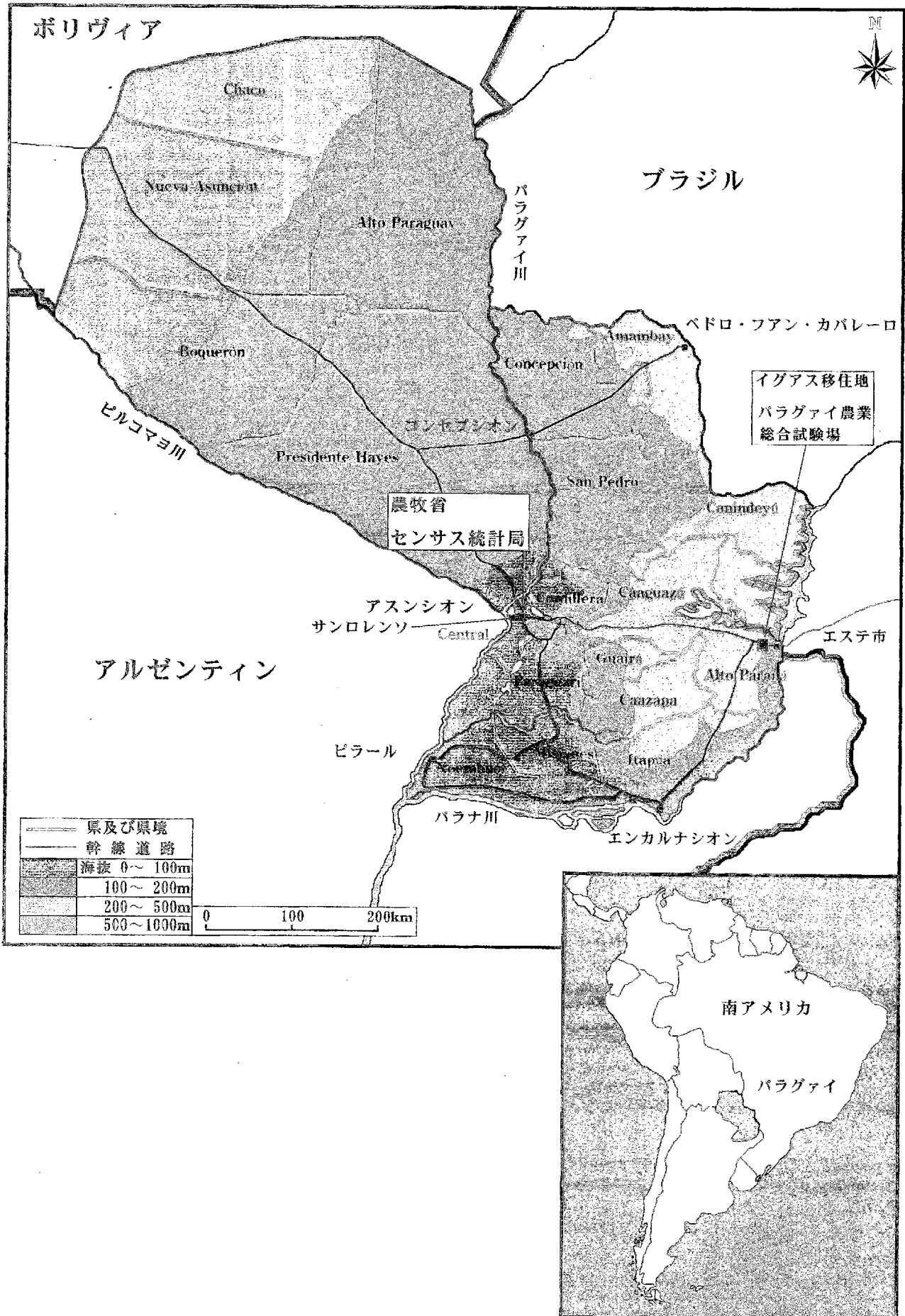


写真5 ミニッツ署名 (WAGNER農牧大臣と山岸団長)



写真6 団長主催レセプションで

パラグアイ国とプロジェクトサイト位置図



目 次

序 文
写 真
地 図

| | |
|------------------------------------|----|
| 1 . アフターケア調査団の派遣 | 1 |
| 1 - 1 調査団派遣の経緯と目的 | 1 |
| 1 - 2 調査団の構成 | 1 |
| 1 - 3 調査日程 | 2 |
| 1 - 4 主要面談者 | 3 |
| 2 . 要約 | 5 |
| 3 . 調査・協議の総括 | 7 |
| 3 - 1 プロジェクト終了後の活動状況 | 7 |
| 3 - 1 - 1 概要 | 7 |
| 3 - 1 - 2 実施運営体制の状況 | 7 |
| 3 - 1 - 3 業務の実施状況 | 8 |
| 3 - 1 - 4 予算 | 8 |
| 3 - 1 - 5 施設、供与機材の管理及び使用状況 | 9 |
| 3 - 1 - 6 次回農牧センサスに向けた取り組み状況 | 10 |
| 3 - 2 アフターケア協力計画の協議経過 | 11 |
| 3 - 2 - 1 アフターケア協力計画の要請内容 | 11 |
| 3 - 2 - 2 アフターケア協力計画の基本的考え方 | 12 |
| 3 - 2 - 3 アフターケア協力計画の内容 | 12 |
| 3 - 2 - 4 ミニッツ協議経緯 | 15 |
| 4 . 分野別調査結果 | 17 |
| 4 - 1 実施体制 | 17 |
| 4 - 2 専門家の派遣 | 17 |
| 4 - 2 - 1 長期派遣専門家 | 17 |
| 4 - 2 - 2 短期派遣専門家 | 17 |

| | | |
|-----------|-----------------|----|
| 4 - 3 | 機材供与 | 17 |
| 4 - 3 - 1 | コンピューター | 17 |
| 4 - 3 - 2 | 調査用車両 | 18 |
| 4 - 3 - 3 | その他 | 18 |
| 4 - 4 | 研修員の受入れ | 18 |
| 4 - 5 | 活動における留意点 | 18 |

付属資料

| | | |
|-------|----------------------------------|----|
| 資料 1 | . ミニッツ（英文・西文） | 23 |
| 資料 2 | . 農牧省組織図 | 37 |
| 資料 3 | . センサス統計局の組織体系及び職場配置図 | 38 |
| 資料 4 | . プロジェクトの C / P の現状 | 39 |
| 資料 5 | . 1999年度調査実施計画表 | 41 |
| 資料 6 | . この 1 年に実施した主要調査の概要 | 42 |
| 資料 7 | . 調査用車両現況整理表 | 43 |
| 資料 8 | . 主要供与機材等の現況整理表（除く車両） | 44 |
| 資料 9 | . 1999年度新規案件の概要 | 50 |
| 資料 10 | . 集推計システムの構築案及び見積り | 59 |
| 資料 11 | . 調査用車両の更新・整備及びその他所要機材の見積り | 61 |

1 . アフターケア調査団の派遣

1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

パラグアイ政府は、農牧政策、農牧開発計画等の策定の基礎となる農牧統計情報の定期的な提供とその信頼性の向上を図るため、1991年の農牧業センサス及び毎年行う標本調査の実施に必要なシステムの確立と技術者などの養成・訓練に係る技術協力を我が国に要請してきた。これを受けて J I C A は、1990年2月1日付の討議議事録 (Record of Discussions : R / D) に基づき、1990年3月1日より5年間にわたり「農牧統計強化計画プロジェクト」を実施した。さらにプロジェクト終了後も、パラグアイ側の強い要望により、統計分析分野及び作物生産予測分野に係る個別専門家を派遣し、協力を行ってきたところである。

今後のパラグアイにおける適切な農牧政策の推進及び農牧業関連の統計技術の発展のためには、国連食糧農業機関 (F A O) の提唱に沿って次回農牧センサスを着実に実施すること、またそれ以降の農牧センサスを継続的に実施するための技術の習得並びに実施体制の確立が重要である。このため、パラグアイ政府は改めて我が国に対し、2001年実施予定の農牧センサス実施を中心とするアフターケア協力を求めてきた。

今般の調査団は、当初協力の成果を踏まえた協力終了後の現状を調査し、アフターケア方式の協力が必要かどうかについて協議するために派遣された。

1 - 2 調査団の構成

| 調査分担 | 氏 名 | 所 属 |
|---------|-------|-------------------------|
| 団長 / 総括 | 山岸 良雄 | 農林水産省統計情報部 |
| センサス企画 | 青山 元吉 | 農林水産省統計情報部 |
| システム企画 | 成瀬財太郎 | 農林水産省統計情報部 |
| 技術協力 | 野添 剛司 | J I C A 農業開発協力部 農業技術協力課 |

1 - 3 調査日程

期間：1999年（平成11年）6月13日（日）～28日（月）

| 日順 | 月日 | 曜日 | 日 程 | 宿泊先 |
|----|------|----|---|--------|
| 1 | 6/13 | 日 | 成田 サンパウロ | |
| 2 | 6/14 | 月 | 10:30 アスンシオン空港着 12:00 ホテル・チェックイン 14:30 事務所打合せ 16:00 大使館表敬 | 内山田ホテル |
| 3 | 6/15 | 火 | 8:30 農牧省企画総局表敬 9:00 企画庁表敬 10:00 農牧省センサス統計局表敬 14:00 専門家との打合せ（宗岡・前田両専門家） | " |
| 4 | 6/16 | 水 | 7:30 農牧省センサス統計局協議 15:00 I B Mヒアリング | " |
| 5 | 6/17 | 木 | 8:30 ミニッツ原案協議 （企画総局、センサス統計局） I B Mヒアリング | " |
| 6 | 6/18 | 金 | 8:30 ミニッツ案協議（センサス統計局） | " |
| 7 | 6/19 | 土 | イグアスへ移動 12:30 久保田農協中央会会長表敬・打合せ 15:00 パラグアイ農業総合試験場（セタパール）打合せ | 福岡旅館 |
| 8 | 6/20 | 日 | 9:00 イグアス移住地視察 アスンシオンへ移動 団内打合せ | 内山田ホテル |
| 9 | 6/21 | 月 | 8:30 ミニッツ案協議（センサス統計局） 12:55 事務所打合せ 14:00 ミニッツ案協議（企画総局） 17:00 ミニッツ案再協議（企画総局） ミニッツ作成 | " |
| 10 | 6/22 | 火 | 11:30 ミニッツ署名・交換（農牧省会議室） 14:00 事務所報告 15:30 大使館報告 19:00 団長主催レセプション | " |
| 11 | 6/23 | 水 | 8:00 センサス統計局あいさつ後、調査団本体は帰路へ （6/26 成田着） （以下、技術協力団員スケジュール） エンカルナシオンへ移動 14:00 大豆生産技術研究計画プロジェクト打合せ 15:00 エンカルナシオン支所打合せ | ARTHUR |
| 12 | 6/24 | 木 | セタパールへ移動 14:30 セタパール打合せ | 福岡旅館 |
| 13 | 6/25 | 金 | セタパール打合せ 飛行機の遅延により延泊 | セタパール |
| 14 | 6/26 | 土 | セタパール アスンシオン サンパウロ | |
| 15 | 6/27 | 日 | ニューヨーク | |
| 16 | 6/28 | 月 | 成田 | |

1 - 4 主要面談者

〔パラグアイ側〕

企画庁

企画庁長官

MARIO LUIDIES

農牧省

農牧大臣

LIC. LUIS ALBERTO WAGNER

総合調整官

OBIDY OBANDON

企画総局

企画総局長

ECON., OSCAR CARVALLO GONZALES

企画総局次長

ING. AGR. ARISTIDES RAIDAN

企画総局

ING. AGR. MSC. JORGE T. OGASAWARA K.

アドバイザー

JOHN MUSCLUSOU

農牧政策アドバイザー

前田 武彦

専門家

宗岡 一正

センサス統計局

センサス統計局長

HUMBERTO S. RUIZ DIAZ V.

センサス課

HISAKA ELENA MASAOKA MACHIDA

GUSTAVO NUNEZ ESQUVEL

EDGARDO RAUL NUNEZ FERREIRA

地図課長

JUAN FRANCISCO SERVIN DUARTE

コンピュータ課長

LIC. EDGAR S. MAEZONO

コンピュータ課

RAUL TERMU TROCHE VERA

JORGE ALFREDO AGUERO PANIAGUA

JORGE FRANCISCO VILLALBA LOPEZ

通訳

LIC. HATSUJI NAGAI

現地 IBM

DIRECTOR

PABLO F. ZUBIRI

LIC. CESAR E. TRAPANI O,

農協中央会会長

久保田 洋史

〔日本側〕

在パラグアイ日本大使館

大使 久保 光弘

二等書記官 中井 智昭

JICAパラグアイ事務所

所長 榎下 信徹

次長 室沢 智史

職員 LIC. TOSAO WATANABE

パラグアイ農業総合試験場（セタパール）

場長 太田 光彦

次長 山下 恭徳

専門家 岩田 文男

2 . 要約

(1) 調査事項

パラグアイ大統領府企画庁、パラグアイ農牧省企画総局及び同センサス統計局を訪問し、プロジェクト終了後の活動状況、パラグアイ農牧統計をとりまく状況、等について調査するとともに、アフターケア協力の内容及び実施に向けた留意事項、等についてパラグアイ側と協議し、合意内容をミニッツ（付属資料 1.）として取りまとめた。

(2) アフターケア協力のミニッツに関する討議内容

1) 協力課題

日本側のマスタープラン（M/P）に基づき説明するとともに意見を交換し、次の協力を行うこととした。

a) パラグアイの農業構造に即した標本調査手法を取り入れた効率的な農牧センサスの実施への協力

b) センサス結果の集推計及び今後の農牧政策の推進に必要なデータを恒常的に提供することを可能とするコンピューターシステムの改良に係る協力

なお、a)について、パラグアイ側は1991年同様全数調査で行うことも視野に入れていたが、協議のなかで、厳しい財政事情下、現実的なサンプルセンサスで行うことを決定し、アフターケア協力はサンプルセンサス手法の技術移転を中心に行うことで合意した。

その他、センサス統計局から出されたアフターケアの要望調査票には、2001年農牧センサスの実施（地図の整備を含む）、農業活動の年次報告書（白書）の作成及び様々な統計情報を基にした分析、前記の目的達成に必要な人材の訓練、が掲げられていたが、協議の結果、の中に含まれるデジタル調査区地図の作成については、既にパラグアイ側の技術で作業が進められており、また、地図作成という新たな分野の協力となること、については、センサスの実施と農牧政策の評価として作成する白書は本来別個のものであり、アフターケアのなかで行うのは適当でないことから、いずれも今回の協力課題からは除外することとした。また、については、パラグアイ側から言葉の関係もあり第三国（スペイン語圏）での訓練も含めるよう強い希望が表明されたが、我が国と同様な調査手法により訓練を行っている国はないことから、日本における訓練のみを行うこととした。このため、本アフターケアの協力課題については日本側の対処方針案どおりとなった。

なお、パラグアイ側要望調査票に対する正式回答は日本での確認・検討ののち、改め

て連絡する旨回答した。

2) 協力期間

2000年（平成12年）4月から2年間

ただし、2001年農牧センサスの設計に必要な情報収集及び事前協議のため、1999年10～12月の予定で短期調査を実施することとした。

3) その他

2001年農牧センサスの成功のためには、効率的な実施に加えて、着実な予算の措置及び執行が不可欠である。現下のパラグアイ国の財政事情は極めて深刻であり、過去数年のプロジェクト等の実施においても作業員の雇用、供与機材の引き取り等で多くの困難に直面していることにかんがみ、本件協力の実施にあたっては、カウンターパート（C/P）の全日勤務、供与機材の早期引き取り、2001年の確実なる予算措置、について強く申し入れを行った。

この結果、以下の各項が明らかになった。

a) 現在、パラグアイでは財政支出削減のため公務員の半日勤務（7～13時）態勢がとられているが、本アフターケアプログラムのC/Pについては全日勤務（7～16時）とすることが確認された。

b) 機材の引き取り等ローカルコストの負担については、農牧大臣をはじめ農牧省幹部も、農牧センサスの実施が今後のパラグアイ農牧業の発展に極めて重要であると認識しており、できるだけ努力すると表明された。

なお、パラグアイ側のローカルコストが約束どおり負担されず、アフターケアの実施に支障を来す場合には、協力目標の修正を行うこともあり得る旨ミニッツに明記された。

c) 2000年予算額の60%をセンサス調査区策定作業に充てることとし、また2001年についてはほぼ全額をセンサス実施に充当する計画で既に作業を進めている旨の説明を受けた。

d) 供与機材のうち車輛については、ランドクルーザー型でなくピックアップ型の方がアフターケア終了後のセンサス統計局での利便性が高いので、検討してほしいとの要請を受けた。

3 . 調査・協議の総括

3 - 1 プロジェクト終了後の活動状況

3 - 1 - 1 概要

本プロジェクトにより、農牧センサスとその結果を母集団とした年次標本統計調査についての技術移転がなされるとともに一連の調査体系が構築され、以来、今日に至るまで自助努力によって基本農牧統計の継続的な作成及び調査結果の提供が行われており、その結果は農牧省内のみならず、他省庁、大学、国際機関及び広く一般に利用・活用されている。

しかしながら、外部機関からの調査の受託や調査結果の分析・提供等、一部に前進はみられるものの、調査の種類や内容等その基本的構成については、プロジェクト終了時と比べ大きな変化はみられなかった。

3 - 1 - 2 実施運営体制の状況

(1) 組織体制

農牧省センサス統計局（プロジェクト当時はセンサス統計部）は、現在農牧大臣の直轄組織で予算的にも独立した局として位置づけられている（付属資料2.3.）また、その所在地も1996年8月末、アスンシオンの農牧省本省からプロジェクト実施のためにサンロレンソに建設された農牧統計センター（CEA）の建物に移転、1997年1月にはコンピューター課も移転し、同施設はパラグアイにおける農牧統計の作成・分析・提供の拠点となっている。

また、プロジェクト遂行のため主要農業地帯の実査拠点として設置された4か所のサブセンターについても、引き続き配置された統計職員が当該管轄地域の統計調査・情報収集の業務に従事してきたが、近年になって1か所のサブセンター（ミンガグアズ）が職員の普及局への移籍により廃止に追い込まれる状況となっている。

サブセンターの拡充はプロジェクト終了時の課題として残されていたが、職員を異動させる経費の不足等もあって進展はみられず、調査のたびに統計局から直接職員が現地に出向く体制となっている。本調査団の訪問中も、畜産調査のため16名の職員がチームを組んで出張中であった。

(2) カウンターパートの配置状況

センサス統計局の職員は現在63名、その構成は局長以下管理課10名、秘書課4名、統計課6名、センサス課15名、地図課8名、コンピューター課16名、サブセンター3名となっている。本プロジェクトのカウンターパート（C/P）及び我が国での研修受講者

(集団研修を含む) は43名おり、うち24名が現在センサス統計局に所属、統計活動で主導的な役割を果たしている (また、プロジェクト C / P のうち他部局に転出した者10名、休職者 1 名、退職者 8 名である) 。

また、このうち北海道大学に留学 (1993年 4 月 ~ 1999年 3 月) した 1 名については、現在、同統計局の統計調査企画、予算策定の重要な任務に携わっている。(付属資料 4 .)

3 - 1 - 3 業務の実施状況

現在センサス統計局で年次統計調査として毎年実施している調査は、 畜産調査 (6 月)、作物調査 (7 月)、 経営体調査 (7 ~ 8 月)、 刈り取り調査 [大豆 (3 ~ 4 月)、綿花 (2 月)、小麦 (9 ~ 10 月)] であり、これらの結果は、調査後速やかに集計分析され速報として広く公表されている。(付属資料 5 .)

また、コンピューター課においてはこれら調査結果の取りまとめはもとより、省内各局からの依頼業務、官房の事務処理、各種プログラムの作成、コンピューター研修等も実施している。

地図課においてはリモートセンシング技術を用いた作付地図の作成等を行ってきたが、1998 年以降予算的に衛星データの購入ができない状況にあり、現在は次回農牧センサスに向けたデジタル調査区地図の作成に取り組んでいる。

3 - 1 - 4 予算

センサス統計局におけるプロジェクト終了後の成立予算の推移は、表 - 1 のとおりである。近年の財政難により政府職員の半日勤務や残業の抑制等が実施されているほか、調査予算の執行にあたっても成立予算にかかわらず執行の遅れや未執行があり、調査結果の信頼性の低下や調査の休止を余儀なくされている。(付属資料 6 .) これらについては、統計を継続的に提供することについての農牧省上層部の理解にも問題があるものと考えられた。

表 - 1 プロジェクト終了後の予算の推移 単位：G S

| | 合計 | 人件費 | 調査費 | 燃料費 |
|------|---------------|---------------|-------------|------------|
| 1995 | 1,159,378,400 | 901,978,400 | 100,000,000 | 30,000,000 |
| 1996 | 1,361,740,846 | 1,018,105,200 | 80,000,000 | 30,000,000 |
| 1997 | 1,313,116,200 | 924,684,200 | 106,308,000 | 31,558,200 |
| 1998 | 1,480,106,450 | 1,031,220,333 | 120,981,000 | 36,700,000 |
| 1999 | 1,354,554,840 | 1,001,505,417 | 90,735,750 | 25,690,000 |

3 - 1 - 5 施設、供与機材の管理及び使用状況

(1) 施設

前述のように、プロジェクトで建設したC E Aの施設はセンサス統計局の移転によりパラグアイ農牧統計の作成・分析・提供の拠点としてフルに活用されている。同局の移転により建物は事務室中心の使用となったが、調査器具等普段使用しない機材については、新たに隣接された倉庫に整理・保管されている。

(2) コンピューター関係

プロジェクトで供与した大型コンピューターは、アスンシオンの本省においてセンサス終了後も統計データの処理のみならず省内各局のデータ処理の要望に対応し、有効活用されてきた。しかしながら供与後8年が経過し、次のような問題が発生している。

1) ホスト本体(MAIN FRAME IBM9375-50)は使用可能なものの、磁気テープ読み取り装置MT(6200BPI)が2台とも故障中であるため、現在はほとんど使用していない。さらに、磁気ディスク装置HD(800MB)についても4台のうち1台が故障中である。

また、1997年1月のサンロレンソへの移転に伴い、無停電電源装置(UPS)の故障により電圧の変動を直接受ける環境下(サンロレンソではアスンシオンより電圧の変動が大きい)に置かれている。

2) 入力用パソコンについては、供与した20台のうち現在3台が大型コンピューターの端末として、また7台がスタンドアロンとして使用されているが、残り10台は既に画面の焼き付き、故障等により使用不能となっている。

また、これら機材とは別に、プロジェクト中及び終了後のフォローアップで派遣された専門家の携行機材及び別途の予算措置によって更に16台(うち電算課8台)のコンピューターが配置されるとともに、メモリの増設、付属品の交換等により「EXCEL」を使用できる環境が整備され、各種統計データの組み替え・分析・公表等に積極的に活用されている。なお、これらの機材には既に大型電算機に蓄積されている前回センサスデータのバックアップがされており、LANシステムの構築により、同データの有効活用を可能としている。ただ、これらの機材についても電源をカバーするUPSにバッテリー交換の時期がきている。

(3) 調査用車輛等

供与車両18台中10台が現在稼働中、1台が故障中、3台が廃棄済みであり、残り4台は他部局の所管となっている。センサス統計局内に整備要員を置き、簡易な整備を心掛けているが、道路事情の劣悪ななか、いずれの車両も10万キロメートル以上の走行距離

を記録し、その信頼性にも問題が生じているため、今後の使用にあたってはオーバーホールによる整備が必要な状況にある。(付属資料7.)

なお、オートバイについては供与した6台のうち既に2台が廃棄済み、現在3台がサブセンター、1台がセンサス統計局で利用されている。

(4) その他

事務機器、調査器具、研修用機材等については、いずれも有効活用されており管理状況も良好である。ただし、使用頻度の高いコピー機等はしばしば故障しており、その使用において問題が生じている機材も見受けられた。プロジェクト時の書類等については書棚に整理され管理状況も良好であった。リモートセンシング機器については財政的な制約から1998年以降衛星画像データが入手できなくなっているが、地図作成等に活用されている。(付属資料8.)

3 - 1 - 6 次回農牧センサスに向けた取り組み状況

センサス統計局では既に2001年7月の農牧センサス実施に向け、次の作業を開始している。

(1) 農牧省内外での動きと今後の見通し

既に1999年5月31日、6月7日の2回の農牧省局長会議においてセンサスの意義、構想等につき詳細に説明、実施に向けた各局の協力を要請した。今後、省内で実施に向けた合意を得たのち、経済審議会等、関係団体等に対してのロビー活動に入る予定となっている。

(2) 予算

2000年予算額の60%をセンサス調査区策定に、また2001年予算についてはほぼ全額をセンサス実施に充てる計画で、既に作業を進めている。

ただし、2000年予算については前年並みのため、作物調査、畜産調査等の主要年次調査の休止が必至の状況であり、農牧統計の継続提供の観点からは問題が残る状況となっている。なお、2001年の予算試算額(全数調査、コンピューターの更新等を想定)は表-2のとおりとなっている。

表 - 2 センサス統計局2001年予算試算額

| 予算項目 | 予算額 (GS) | |
|---------------------|-----------------------------------|-----------------|
| 調査員手当 (全数調査の場合) | 4,020,261,800 | (前回の約 5 倍) |
| 所要器材等 (車両、コンピューター等) | 1,879,038,210 | |
| 消耗品 (紙、事務用品等) | 108,116,250 | |
| 雑費 (郵便代、宣伝費、印刷費等) | 44,500,000 | |
| 施設増築費 (電算室、会議室) | 63,000,000 | |
| 計 | 6,114,916,260 (2,087,002 US\$) | 前回ローカルコストの約 7 倍 |

(3) 準備作業の開始

前回のセンサスで設定された調査区地図は調査員に分かりにくかったとの反省から、2001年センサスに向けてはその改善を図ることとし、現在地図課においてデジタル調査区地図を作成中である。これに基づき、1999年7月以降1年間をかけて、チャコ(西部)地域を除く全土について現地確認作業を開始することとしているが、この作業については、共通の調査区地図を整備する目的で国防省地理局から20名、大統領府センサス局から10名の人的支援を受けて実施される予定である。

3 - 2 アフターケア協力計画の協議経過

アフターケア協力計画についての協議結果は、付属資料1.の「パラグアイ農牧統計強化計画アフターケアについてのミニッツ」に記載されたとおりである。これら「覚書」を取りまとめるにあたっての協議経過等は、次のとおりである。

3 - 2 - 1 アフターケア協力計画の要請内容

当初、パラグアイ政府からは1999年度新規要請案件として、「1999年度新規案件の概要」(付属資料9.)による協力要請があったが、現在のパラグアイ側の実施体制が未確定であることなどの理由から不採択とした。

このため、パラグアイ政府としては、財政事情が厳しいなかで実施を予定する2001年農牧センサスの成功に向けた技術的支援及び同センサスの実施に不可欠なコンピューター・調査用車両等の機材の更新、更にはその結果の分析を含む、次の協力を要請してきたものである。

- (1) 2001年農牧センサスの実施(地図の整備を含む)
- (2) 農牧活動の年次報告書(白書)の作成及び様々な統計情報を基にした分析
- (3) 前記の目的達成に必要な人材の訓練

3 - 2 - 2 アフターケア協力計画の基本的考え方

パラグアイにおける適切な農牧政策を推進していくためには、その現状を的確に把握することが不可欠であり、特にFAOの提唱に沿って実施を予定している2001年農牧センサスの着実な実施が重要である。これはまた、今後継続的に実施される各種調査の母集団を提供する意味でも極めて重要である。しかしながら、今日のパラグアイの厳しい財政事情の下、前回同様の全数調査による農牧業センサスの実施は非常に困難な状況にある。

以上を踏まえ、本アフターケア協力では財政負担を軽減できるサンプルセンサス手法の導入により農牧センサスを実現することとし、3 - 2 - 1の(1)についてサンプルセンサスの企画から調査票の設計及び集推計システムの構築に係る一連の技術移転を行い、あわせてこの実施に不可欠な機材の整備を図ることとした。

なお、(2)については、本アフターケア協力の期間が2年間であり、調査結果(速報値)の公表までしか見込めないこと、また別の次元の協力となることから、本協力計画から除外した。

3 - 2 - 3 アフターケア協力計画の内容

(1) 目的

1995年2月28日に終了した「農牧統計強化計画」により達成された成果を維持・発展させるため、2001年農牧センサスの成功に向けた実施条件の整備及び実施体制の構築に係る協力を行う。

(2) 協力期間

2000年4月1日～2002年3月31日(2年間)

(3) 実施機関

農牧省、センサス統計局

(4) 協力活動

1) 上位目標

パラグアイにおける近代的農牧統計の作成が維持・発展される。

2) アフターケア目標

2001年農牧センサスの成功に向けた簡素・効率的な手法の開発及び実施体制の整備。

3) 成果

- a) 調査体系の見直しにより効率的なセンサスの実施体制に改善される。
- b) データ処理システムが改善される。
- c) 農牧センサスの概報結果が早期に公表される。
- d) センサスデータが効率的に利用される。

4) 活動

- a) 効率的なサンプルセンサスの実施・指導。
- b) 集推計システムの改善に向けた企画・設計。
- c) 調査結果（概報）の早期公表に向けた計画策定、手法改善及び体制整備。

5) 日本側の投入

a) 長期専門家 2名

- ・農牧センサス企画（2000年4月～2002年3月）
- ・集計技術（2000年4月～2002年3月）

なお、調査の基本構想の策定、調査母集団の編成等に係る事前検討のため
1999年10～12月の予定で短期調査を実施する。

b) 短期専門家

- ・年間数名程度（専門分野：センサス計画、標本センサス、集推計システム等）

c) 研修員の受入れ

- ・年間2名程度（センサス計画、集推計システム等）

d) 供与機材（案）

- ・コンピューター及び周辺機器
- ・調査用車両及び整備部品等 (2,000～3,000万円程度)

6) パラグアイ側の投入

- ・C/Pの配置
- ・アフターケア実施に必要な施設・機材・サービスの提供
- ・ローカルコスト等の負担

(5) 具体的協力事項

1) 農牧センサス企画分野

a) 調査体系改善指導

前回のセンサスではすべての客体に対し同一の調査を実施したが、2001年農牧センサスでは、パラグアイの農牧構造及び前回センサスでの経験等を踏まえ、調査体系の改善を図ることとし、その実施のための具体的な調査の設計及び調査結果の集推

計・取りまとめ等に係る技術指導を行う。

- ・2001年農牧センサスでは、小規模農家を対象とした一般階層と大規模農場等を対象とした大規模階層とに分離した調査体系で実施する。なお、大規模階層は全数調査とするが、一般階層については標本調査を導入して大幅な簡素化を図る。
- ・調査員は、一般階層については前回と同じく地域住民等とするが、大規模階層については普及員、畜産指導員、本省職員等の政府職員とする。
- ・前回のセンサスでは大規模農場の経営農地が非常に広大で複数の町村、県に及ぶ場合には、その調査結果は被調査者の所在地に積算され、必ずしも地理的分布の実態と合致しないという問題が残された。このため、本センサスでは属地項目の導入により、経営農地の地域分割を行うこととし、その手法、調査設計・実施についての技術指導を行う。

b) 客体リスト作成に係る指導

センサスの実施にあたって不可欠な調査客体のリストについて、前回の農牧業センサスで整備された農家リストを基に現況を反映した調査客体リストを整備する手法を指導する。

また、大規模農場等については前回の調査結果と関係機関等からの情報収集等により新たなリスト作成を行う必要があり、その作成に係る指導を行う。

c) 調査票の設計に係る指導

前記、調査体系の大幅な変更にあわせ、前回は1種類で行った調査票についても、一般階層、大規模階層別の調査票に改善することとし、その設計に向けた指導を行う。

d) 調査取りまとめ工程の監理

前記改善に基づき実施するプリテスト及び本センサスについてその工程監理を行うとともに、発生するもろもろの問題点の解決、調査結果の検討・分析、公表の方法等に向けた指導を行う。

2) 集計技術

a) 新システムの企画・設計に係る指導

センサス統計局内のネットワークを活用した機動的なシステムに改善することとし、総合的なシステムの構築及びその管理・運営体制の整備等について技術指導を行う。

b) 新機材を活用した集推計システムの構築に係る指導

- ・客体リスト整備システム

前回のセンサス結果及び調査区の確認調査結果を用いて、一般階層のための調査

客体リストの作成を行う。また関係機関等からの情報収集もあわせて、大規模階層のための調査客体リストを作成する。

・入力・審査・修正システム

センサス調査票データの入力・チェック及びその修正を行う。

・集計・分析・出力システム

調査結果の集推計・分析及び各種結果表の出力を行う。

・データの効率的利用方法の技術的指導

c) 集推計システムの監理（センサス実施時の具体的指導）

前記の各システムが順調に機能するよう、調査結果の入力・チェック・分析、及び各種結果表の作成等に至る全工程について、具体的に生じた問題への対応、その改善等についての指導を行う。

(6) 供与機材等

1) 調査用車両等

・既存調査用車両の修理・整備（現地車両専門家の調査に基づき実施）

・更新 2台

2) コンピューターシステム等

・ホスト本体（IBM AS/400e Server Model 720） 1台

・プリンター [(Impresora) IBM 6400-010] 2台

・入力端末機（IBM PC 300GL） 15台

・UPSのバッテリー交換

3) その他

・コピー機 2台

・印刷機 1台

3 - 2 - 4 ミニッツ協議経緯

6月17日（木）に実質的なミニッツ案の協議が行われたが、その際の議論の内容は次のとおりである。

(1) 表題に「強化」は入れないのか。

5年間実施されたプロジェクトの英文名は“ Agricultural Statistics Project ”であり、今回のアフターケア協力の名称も、原案どおり同様とした。

(2) 「 - 3 日本におけるカウンターパート研修」に第三国研修を追加してほしい。

本アフターケア協力期間中に必要とされる内容についての第三国研修が想定されないことから、原案どおりとした。

(3) 「 - 4 ローカルコスト」の箇所に「パラグアイの予算の範囲内で」という文言を追加してほしい。

プロジェクト実施以前からローカルコスト負担の不履行を前提とするような協定は締結できないとして、原案どおりとした。

4 . 分野別調査結果

4 - 1 実施体制

センサス統計局の組織上の変更に伴い、本アフターケアプログラムのプロジェクトディレクターはセンサス統計局長、プロジェクトマネージャーは統計調査課長とする。また、農牧センサスの実施に不可欠な農牧省内各局の協力取り付け、その調整のためのコーディネーターとして新たに企画総局長を任命することとした。

なお、センサス統計局は本アフターケア実施に係る専門家の部屋（同室の書架には本プロジェクト時の日本語資料が整理されている）を既に確保済みである。

4 - 2 専門家の派遣

4 - 2 - 1 長期派遣専門家

アフターケア実施のため「農牧センサス企画」及び「集計技術」の2名の長期専門家を派遣することとした。

このほかパラグアイ側からは、農牧センサスの実施に付随するものとしてGIS (Geographic Information System) 技術を用いたセンサス調査区地図の作成に係る専門家派遣の希望が提出されたが、既にパラグアイ側の技術で作業が進められていることから、これについては対応しないこととした。

4 - 2 - 2 短期派遣専門家

必要に応じ年間2～3名の派遣を行うこととした。なお、具体的な分野、派遣時期等については、今後派遣される長期専門家と協議のうえ決定することとした。

4 - 3 機材供与

4 - 3 - 1 コンピューター

大型コンピューターに関しては、プロジェクトで供与した機材が周辺機器のトラブルにより既に使えない状況となっていること、またハード、OS面での2000年対応もできないことなどから新たな機材への更新が不可欠の状況にある。このため、コンピューター課の職員と意見交換を行うとともに、現地IBMの担当者も交え、次回センサスの効率的な集推計が可能であり、その結果の発展的活用が図れること、前回センサスでのプログラム資産 (VSAM-COBOL) の活用が図れること、の2つの観点から、望ましいシステム構成について協議を行った。この結果、付属資料10. に示す案が固まった。

なお、これら機材についてはプログラムの変換作業を前倒して進める必要があることから、

初年度に可能な限り整備・供与することとした。

また、現在のコンピューター室が手狭なため、センサス統計局としては次回センサス対応のため2001年予算にコンピューター室の拡張経費を計上しているが、これが困難な場合はコンピューター室脇の通路部分にデータ入力の部屋の仮設を検討するとしている。

4 - 3 - 2 調査用車両

調査用車両の整備に関しては、各車両の走行距離がいずれも10万キロメートルを超え、多くのトラブルを抱えていることから、農牧センサスに利用するためにはオーバーホールによる整備を行う必要があると判断される。このため、既にセンサス統計局が現地の車両業者に見積らせた資料を入手した。(付属資料11.)

なお、更新する車両についてパラグアイ側は、ランドクルーザー型より実際の調査に活用できるピックアップ型複数台の供与を希望している。

4 - 3 - 3 その他

その他、アフターケアの実施に必要な機材としてコピー機2台及び速報の印刷に用いるリソグラフの供与を希望している。(付属資料11.)

4 - 4 研修員の受入れ

パラグアイ側C/Pについては現時点では残業予算枠の問題等もあり、リストとしての提出ができないとのことから、早急にその選定を進めるよう依頼した。なお、受入れは長期派遣専門家の専門分野に対応する形で行うこととし、具体的研修項目については協力の進捗状況をみながら決定することとした。

また、研修員の受入れに関し、パラグアイ側から第三国研修を含めること(具体的には、FAO等による南米地域での農業センサス、リモートセンシング、地図作製等に関するセミナー等を想定)、さらに、本邦研修にあたってはアフターケア開始以前の受入れについても強い要請がなされたが、アフターケアの趣旨にそぐわないこと、また制度的にも困難である旨回答した。

4 - 5 活動における留意点

- (1) アフターケア協力の期間は2年間と短期間であるため、協力内容を広げ過ぎないこと及び今後派遣される調査員との間で策定される業務スケジュール表に基づき着実に実施していくことが重要である。

- (2) 本件協力を成功させるためにはセンサス統計局への技術移転のみならず、農牧省関係部局の協力が極めて重要であることから、これらの協力が得られるよう、その重要性を上層部に十分説明し、理解を得つつ進める。
- (3) パラグアイの財政事情が極めて厳しいことから、センサス計画の策定にあたっては極力効率化を図るとともに、ローカルコストの拠出状況についても常に注意を払い、その確実な執行に向けて適切な措置を講ずる。

付 属 資 料

- 資料 1 . ミニッツ (英文 ・ 西文)
- 資料 2 . 農牧省組織図
- 資料 3 . センサス統計局の組織体系及び職場配置図
- 資料 4 . プロジェクトの C / P の現状
- 資料 5 . 1999年度調査実施計画表
- 資料 6 . この 1 年に実施した主要調査の概要
- 資料 7 . 調査用車両現況整理表
- 資料 8 . 主要供与機材等の現況整理表 (除く車両)
- 資料 9 . 1999年度新規案件の概要
- 資料 10 . 集推計システムの構築案及び見積り
- 資料 11 . 調査用車両の更新 ・ 整備及びその他所要機材の見積り

MINUTES OF DISCUSSIONS
ON
AFTERCARE TECHNICAL COOPERATION
FOR
THE AGRICULTURAL STATISTICS PROJECT

The Japanese Aftercare Study Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Yoshio YAMAGISHI, visited the Republic of Paraguay from June 14, 1999 to June 22, 1999 for the purpose of working out the details of Aftercare Technical Cooperation for the Agricultural Statistics Project (hereinafter referred to as the "Aftercare Program").

During its stay in the Republic of Paraguay, the Team carried out a field survey, exchanged views and had a series of discussions with the Paraguayan authorities concerned in respect to measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Aftercare Program.


As a result of the discussions, and in accordance with provisions of the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government of the Republic of Paraguay, the Team and the Paraguayan authorities concerned agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

These texts were done in duplicate in Spanish and English, respectively, with both the Spanish and English texts being equally authentic. In case of any divergence of interpretation, the English text will prevail.

Asuncion, June 22, 1999

山岸 良雄

Mr. YOSHIO YAMAGISHI
Leader,
Aftercare Study Team,
Japan International Cooperation Agency,
Japan



LIC. LUIS ALBERTO WAGNER
Minister,
Ministry of Agriculture and Livestock,
The Republic of Paraguay

ATTACHED DOCUMENT

I. OBJECTIVES OF THE AFTERCARE PROGRAM

The Government of Japan and the Government of the Republic of Paraguay will cooperate with each other in implementing the Aftercare Program for the purpose of supporting and developing the achievements obtained by "the Agricultural Statistics Project", which terminated on February 28, 1995.

II. COOPERATION ACTIVITIES OF THE AFTERCARE PROGRAM

In order to attain the above mentioned objectives, activities of the Aftercare Program will be carried out as described in the Tentative Schedule of Implementation (Annex I).

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take, at its own expense, the following measures through JICA according to the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme:

1 DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

The Government of Japan will provide the services of the Japanese experts listed in Annex II.

2 PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

The Government of Japan will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Aftercare Program as listed in Annex III. This will include the replacement of machinery which was previously donated by the Government of Japan to the Agricultural Census and Statistics Directorate and provision of necessary spare parts for them. The actual provision will be subject to change according to budgetary allocation by the Government of Japan. The Equipment will become the property of the Government of the Republic of Paraguay upon being delivered C.I.F. to the Paraguayan authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation.

3 TRAINING OF PARAGUAYAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN

The Government of Japan will accept a few trainees from the Paraguayan personnel concerned with the Aftercare Program in Japan.

Handwritten signature and initials, possibly representing the Japanese representative.

IV. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF PARAGUAY

The Government of the Republic of Paraguay will take necessary measures,

- (1) to ensure that the self-reliant operation of the Aftercare Program will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through the full and active involvement in the Aftercare Program by all related authorities.
- (2) to ensure that the technologies and knowledge acquired by the Paraguayan nationals as a result of Japanese technical cooperation will contribute to the economic and social development of the Republic of Paraguay.
- (3) to ensure that the Equipment referred to in III-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Aftercare Program in consultation with the Japanese experts referred to in III-1 above.

In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Paraguay, the Government of the Republic of Paraguay will take the following measures to provide at its own expense:

1 PARAGUAYAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

The Government of the Republic of Paraguay will secure qualified Paraguayan counterparts, administrative personnel and supporting staff. The counterpart personnel are listed as Annex IV.

2 PROVISION OF FACILITIES

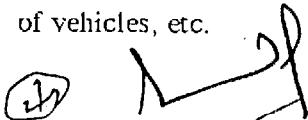
The Government of the Republic of Paraguay will provide facilities in the Ministry of Agriculture and Livestock (hereinafter referred to as "MAG") office for the implementation of the Aftercare Program.

3 SUPPLY OF NECESSARY MATERIALS AND SERVICES

The Government of the Republic of Paraguay will supply necessary materials, equipment and services such as repair, maintenance and operation for the implementation of the Aftercare Program.

4 RUNNING EXPENSES

The Government of the Republic of Paraguay will allocate running expenses necessary for the implementation of the Aftercare Program including local official travel of counterpart, electricity, water supply, fuel, efficient customs clearance of the received equipment, insurance of vehicles, etc.

A handwritten signature and a circular stamp containing the initials 'AB' are located at the bottom left of the page.

V. ORGANIZATION OF THE AFTERCARE PROGRAM

1 RESPONSIBLE AGENCY

The director of the General Planning Directorate, as the General Coordinator, will be responsible for general coordination of the Aftercare Program.

The director of the Agricultural Census and Statistics Directorate, as the Project Director, will bear overall responsibility for implementation of the Aftercare Program.

The chief of the Agricultural Census and Survey Division, as the Project Manager, will be responsible for administrative and managerial matters of the Aftercare Program.

2 EXECUTING AGENCY

The Agricultural Census and Statistics Directorate, MAG

3 SITES OF THE AFTERCARE PROGRAM

The Agricultural Census and Statistics Directorate, MAG

VI. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issue arising from or in connection with this Attached Document.

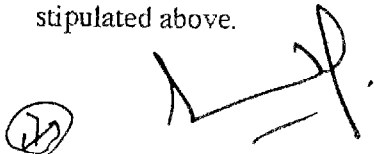
VII. TERM OF THE AFTERCARE PROGRAM

The duration of the Aftercare Program will be two (2) years from April 1, 2000.

VIII. OTHERS

1 The Government of the Republic of Paraguay should make the necessary arrangements for requesting the dispatch of Japanese experts, the provision of equipment and training of Paraguayan counterpart personnel in Japan by submitting the application forms (A1, A2-3 and A4 Form).

2 The Aftercare program under this Minutes will be implemented according to the articles in the Record of Discussions signed on February 1, 1990, except for the matters stipulated above.

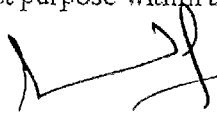
Handwritten signature and initials. On the left, there is a circled monogram, possibly 'JP'. To its right is a large, stylized signature that appears to be 'L. J.' or similar, with a horizontal line underneath.

3 Accomplishment of Paraguayan Responsibilities

Based on experience acquired during past technical cooperation programs, it was determined that some of the measures that were to be taken by the Government of the Republic of Paraguay for the implementation of the Project have unfortunately not been accomplished due to the Paraguayan financial crisis.

Both the Japanese and Paraguayan sides confirmed that the purpose of JICA's technical cooperation is the transfer of technology, skills, and knowledge that will help in the development of the economy and society of the Republic of Paraguay and contribute to the improvement of Paraguayan technology. In addition, both sides recognized that it would be crucial for the Paraguayan side to assume complete responsibility for programs to achieve the above-mentioned purpose.

In the case of non-fulfillment of the undertaking by the Paraguayan side, both sides agreed that the project purpose within the Aftercare Program could be revised.



ANNEX 1 Tentative Implementation Schedule of the Aftercare Program

| | 1 s t | | | | 2 n d | | | |
|---|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | Apr~ Jun | Jul~ Sep | Nov~ Dec | Jan~ Mar | Apr~ Jun | Jul~ Sep | Nov~ Dec | Jan~ Mar |
| Census Planning | | | | | | | | |
| 1 General planning of the Census <ul style="list-style-type: none"> Improvement of Census System Planning of Census operation schedule Definition of Agricultural holdings | | | | | | | | |
| 2 Preparatory operation (large-scale holdings) <ul style="list-style-type: none"> for large-size farmers (Small-scale holdings) <ul style="list-style-type: none"> Listing and sampling of enumeration areas Listing and sampling of holdings | | | | | | | | |
| 3 Preparation of forms and manuals <ul style="list-style-type: none"> Designing questionnaire forms Pre-test Making manuals | | | | | | | | |
| 4 Management <ul style="list-style-type: none"> Manual checking and totaling Planning of prompt public release | | | | | | | | |
| Data Processing | | | | | | | | |
| 1 System Planning <ul style="list-style-type: none"> for the list of farmers for data Input and Correction for data Output and Analysis | | | | | | | | |
| 2 System Development <ul style="list-style-type: none"> for the list of farmers for data Input and Correction for data Output and Analysis | | | | | | | | |
| 3 System Management <ul style="list-style-type: none"> Input of data , Checking of data Publication of the tentative survey results | | | | | | | | |

(2)

ANNEX II. JAPANESE EXPERTS

1. Expert in the field of Census Planning
2. Expert in the field of Data Processing

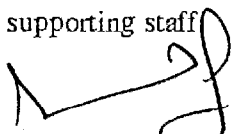
Note: Short-term experts will be dispatched when the necessity arises for the smooth implementation of the Aftercare Program.

ANNEX III. MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Equipment necessary for Census Planning
2. Equipment necessary for Data Processing
3. Other machinery, equipment and spare parts necessary for the implementation of the Aftercare Program

ANNEX IV. COUNTERPART PERSONNEL

1. Project Manager
2. Counterpart Personnel in the field of
 - (1) Census Planning
 - (2) Data Processing
3. Other necessary supporting staff



MINUTA DE DISCUSIONES
REFERENTE A
LA COOPERACIÓN TÉCNICA DE APOYO POSTERIOR
DEL
PROYECTO DE ESTADÍSTICAS AGROPECUARIAS

La misión japonesa de Estudio de Apoyo Posterior (referido en adelante como “la Misión”), organizada por la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en adelante referido como “JICA”) y encabezada por el Sr. Yoshio YAMAGISHI, visitó la República del Paraguay del 14 de junio de 1999 al 22 de junio del mismo año, con el fin de elaborar los detalles de la Cooperación Técnica de Apoyo Posterior correspondiente al Proyecto de Estadísticas Agropecuarias (en adelante referido como el “Programa de Apoyo Posterior”).

En el transcurso de su estadía en la República del Paraguay, la Misión llevó a cabo el estudio de campo, intercambió puntos de vista y efectuó una serie de conversaciones con las autoridades paraguayas en relación a las medidas a ser tomadas por ambos gobiernos para la implementación exitosa de dicho proyecto.

Como resultado de las conversaciones, y de conformidad con las estipulaciones del Acuerdo de Cooperación Técnica entre el Gobierno del Japón y el Gobierno de la República del Paraguay, la Misión y las autoridades paraguayas correspondientes acordaron recomendar a sus gobiernos respectivos los puntos indicados en el documento adjunto.

Estos textos fueron hechos en duplicado y redactados en español e inglés, respectivamente, siendo ambos documentos igualmente auténticos. En caso de cualquier discrepancia de interpretación, prevalecerá el texto en inglés.

Asunción, 22 de junio de 1999



Sr. Yoshio YAMAGISHI
Líder
Misión de Estudio Postproyecto
Agencia de Cooperación Internacional del Japón,
Japón



Lic. Luis Alberto WAGNER
Ministro
Ministerio de Agricultura y Ganadería
República del Paraguay

DOCUMENTO ADJUNTO

I. OBJETIVOS DEL PROGRAMA DE APOYO POSTERIOR

El Gobierno del Japón y el Gobierno de la República del Paraguay cooperarán mutuamente en la puesta en ejecución del Programa De Apoyo Posterior a fin de apoyar y desarrollar los logros obtenidos por el "Proyecto de Estadística Agropecuarias", el cual culminó el 28 de febrero de 1995.

II. ACTIVIDADES DE COOPERACIÓN DEL PROGRAMA

Las actividades del Programa de Apoyo Posterior se ejecutarán en base al Cronograma Tentativo de Implementación (Anexo I), para la obtención de los objetivos arriba enunciados.

III. MEDIDAS A SER TOMADAS POR EL GOBIERNO DEL JAPÓN

De acuerdo con las leyes y regulaciones vigentes en el Japón, el Gobierno del Japón tomará, a costa suya, las siguientes medidas a través de la JICA de conformidad con los procedimientos normales bajo el Esquema de Cooperación Técnica del "Plan Colombo".

1 ENVÍO DE EXPERTOS JAPONESES

El Gobierno del Japón brindará los servicios de expertos japoneses que se detallan en la lista del Anexo II.

2 SUMINISTRO DE MÁQUINAS Y EQUIPOS

El Gobierno del Japón proveerá máquinas, equipos y otros materiales (en adelante "los Equipos") necesarios para la implementación del Programa de Apoyo Posterior de conformidad a la lista presentada en el Anexo III, esto incluirá el remplazo de las máquinas previamente donadas por el Gobierno del Japón a la Dirección de Censos y Estadísticas Agropecuarias y el suministro de los repuestos necesarios para ellos. La provisión estará sujeta a la asignación presupuestaria del Gobierno del Japón. Los Equipos se constituirán en propiedad del Gobierno de la República del Paraguay en el momento de ser entregados a las autoridades paraguayas involucradas incluyendo Costo, Seguro y Flete (C.I.F.), en el puerto y/o aeropuerto de desembarque.

3 CAPACITACIÓN DEL PERSONAL DE CONTRAPARTE EN EL JAPÓN

El Gobierno del Japón aceptará de acuerdo a las necesidades, al personal paraguayo relacionado con el Programa de Apoyo Posterior, quienes recibirán capacitación en Japón.



IV. MEDIDAS A SER IMPLEMENTADAS POR EL GOBIERNO DE LA REPÚBLICA DEL PARAGUAY

El Gobierno de la República del Paraguay tomará las medidas necesarias para:

- (1) asegurar que la operación del proyecto será mantenida en el transcurso y luego del período de cooperación técnica japonesa, por medio de la dedicación activa y completa al proyecto de las autoridades involucradas.
- (2) asegurar que las tecnologías y los conocimientos adquiridos por los técnicos paraguayos a consecuencia de la cooperación técnica japonesa contribuya al desarrollo económico y social de la República del Paraguay.
- (3) asegurar que los equipos señalados en el III-2 será empleado en forma efectiva para la implementación del proyecto en consulta con los expertos japoneses mencionados en el punto III-1.

De acuerdo a las leyes y reglamentos vigentes en la República del Paraguay, el Gobierno de la República del Paraguay implementará las medidas a costa suya que se enuncian a continuación:

1 CONTRAPARTE PARAGUAYA Y PERSONAL ADMINISTRATIVO

El Gobierno de la República del Paraguay dispondrá de contrapartes paraguayos calificados, personal administrativo y de apoyo. El personal de contraparte se encuentra listado en el Anexo IV.

2 PROVISIÓN DE INSTALACIONES

El Gobierno de la República del Paraguay brindará instalaciones del MAG para la implementación del Programa de Apoyo Posterior.

3 SUMINISTRO DE MATERIALES Y SERVICIOS NECESARIOS

El Gobierno de la República del Paraguay suministrará los materiales, equipos y servicios necesarios, tales como: reparación, mantenimiento y operación, para la implementación del Programa de Apoyo Posterior.

4 GASTOS CORRIENTES

El Gobierno de la República del Paraguay asignará los recursos financieros necesarios para cubrir los gastos corrientes requeridos para la implementación del Programa de Apoyo Posterior, incluyendo viáticos de contrapartes, electricidad, abastecimiento de agua, combustibles, rubros para un ágil despacho de equipos, seguro de vehículo, etc.



V. ORGANIZACIÓN DEL PROGRAMA DE APOYO POSTERIOR

1 INSTITUCION RESPONSABLE

El director de la Dirección General de Planificación, como Coordinador General, asumirá la responsabilidad de la coordinación general del Programa de Apoyo Posterior.

El director de la Dirección de Censos y Estadísticas Agropecuarias, como Director del Proyecto, asumirá la responsabilidad general para la implementación del Programa de Apoyo Posterior.

El Jefe del Departamento de Censos y Encuestas Agropecuarias, como Gerente del Proyecto, será responsable por las cuestiones administrativas y gerenciales del Programa de Apoyo Posterior.

2 AGENCIAS EJECUTORAS

La Dirección de Censos y Estadísticas Agropecuarias, Ministerio de Agricultura y Ganadería (en adelante "DCEA/MAG").

3 LUGAR DEL PROGRAMA DE APOYO POSTERIOR

Dirección de Censos y Estadísticas Agropecuarias, DCEA/MAG

VI. CONSULTA RECÍPROCA

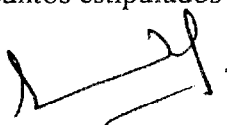
Existirá una consulta recíproca entre ambos gobiernos referente a cualquier asunto importante que surja de o en conexión con el presente documento.

VII. TÉRMINOS DEL PROGRAMA DE APOYO POSTERIOR

La duración del Programa de Apoyo Posterior será de dos (2) años a partir del 1° de abril de 2000.

VIII. OTROS

- (1) El Gobierno de la República del Paraguay deberá efectuar los trámites necesarios para solicitar el envío de expertos japoneses, el suministro de equipos y el entrenamiento al personal de contraparte paraguayo en Japón, remitiendo los formularios de solicitud pertinentes (formularios A1, A2-3 y A4).
- (2) El Programa de Apoyo Posterior será implementado de conformidad a los artículos del Registro de Discusiones (R/D) firmado el 1° de febrero de 1990, a excepción de los asuntos estipulados en la presente minuta.




(3) Cumplimiento de las Responsabilidades Paraguayas

Basado en las experiencias adquiridas en los programas de cooperación técnica, se han determinado que algunas de las medidas a ser tomadas por el Gobierno de la República del Paraguay, en la implementación de los proyectos, no han sido cumplidas cabalmente, a causa de la crisis financiera del Paraguay.

Ambas partes concuerdan que los objetivos de la Cooperación técnica de la JICA, es la transferencia de tecnología, capacitación y conocimientos que apoyarán al desarrollo económico y social de la República del Paraguay, y contribuirá al mejoramiento de la tecnología paraguaya. Además, ambas partes reconocieron que sería relevante para la parte Paraguaya asegurar la completa responsabilidad para que los programas alcancen los objetivos arriba mencionados.

En caso de que surgiera algunas dificultades para el cumplimiento de los compromisos asumidos por el lado Paraguayo, ambas partes acuerdan que dentro del programa de Apoyo Posterior, los objetivos del proyecto serían revisados.



ANEXO I. Cronograma Tentativo para la Implementación del Proyecto

| | 1 r o . | | | | 2 d o . | | | |
|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | Abr-Jun | Jul-Sep | Nov-Dic | Ene-Mar | Abr-Jun | Jul-Sep | Nov-Dic | Ene-Mar |
| Planificación del Censo | | | | | | | | |
| 1 Planificación general del Censo | | | | | | | | |
| . Mejoramiento del Sistema Censal | | | | | | | | |
| . Planificación del Programa del Operativo Censal | | | | | | | | |
| . Definición de las explotaciones agropecuarias | | | | | | | | |
| 2 Proceso preparatorio | | | | | | | | |
| (Explotaciones de gran tamaño) | | | | | | | | |
| . productores de explotaciones de gran tamaño | | | | | | | | |
| (Explotaciones de pequeño tamaño) | | | | | | | | |
| . Listado y selección de A.E. | | | | | | | | |
| . Listado y selección de explotaciones | | | | | | | | |
| 3 Preparación de formularios y manuales | | | | | | | | |
| . Diseño del cuestionario | | | | | | | | |
| . Pre-test | | | | | | | | |
| . Confección de los manuales | | | | | | | | |
| 4 Gerenciamiento | | | | | | | | |
| . Verificación de la Cédula Censal | | | | | | | | |
| . Planificación de la publicación preliminar | | | | | | | | |
| ----- | | | | | | | | |
| Procesamiento de datos | | | | | | | | |
| 1 Planificación de sistemas de: | | | | | | | | |
| . lista de productores | | | | | | | | |
| . ingreso y corrección de datos | | | | | | | | |
| . salida de datos y análisis | | | | | | | | |
| 2 Desarrollo del Sistema de: | | | | | | | | |
| . lista de productores | | | | | | | | |
| . ingreso y corrección de datos | | | | | | | | |
| . salida de datos y análisis | | | | | | | | |
| 3 Gerenciamiento del Sistema | | | | | | | | |
| . Ingreso de datos, verificación de datos | | | | | | | | |
| . Publicación de resultados censales preliminares | | | | | | | | |

ANEXO II. EXPERTOS JAPONESES

1. Expertos en el área de planificación de censos.
2. Expertos en el área de procesamiento de datos.


Nota: Expertos de corto plazo serán enviados cuando sean requeridos con el propósito de una mejor implementación del proyecto.

ANEXO III. MÁQUINAS Y EQUIPOS

1. Equipo necesario para la planificación de censos
2. Equipo necesario para el procesamiento de datos.
3. Otras máquinas, equipos y repuestos necesarios para la implementación del proyecto.

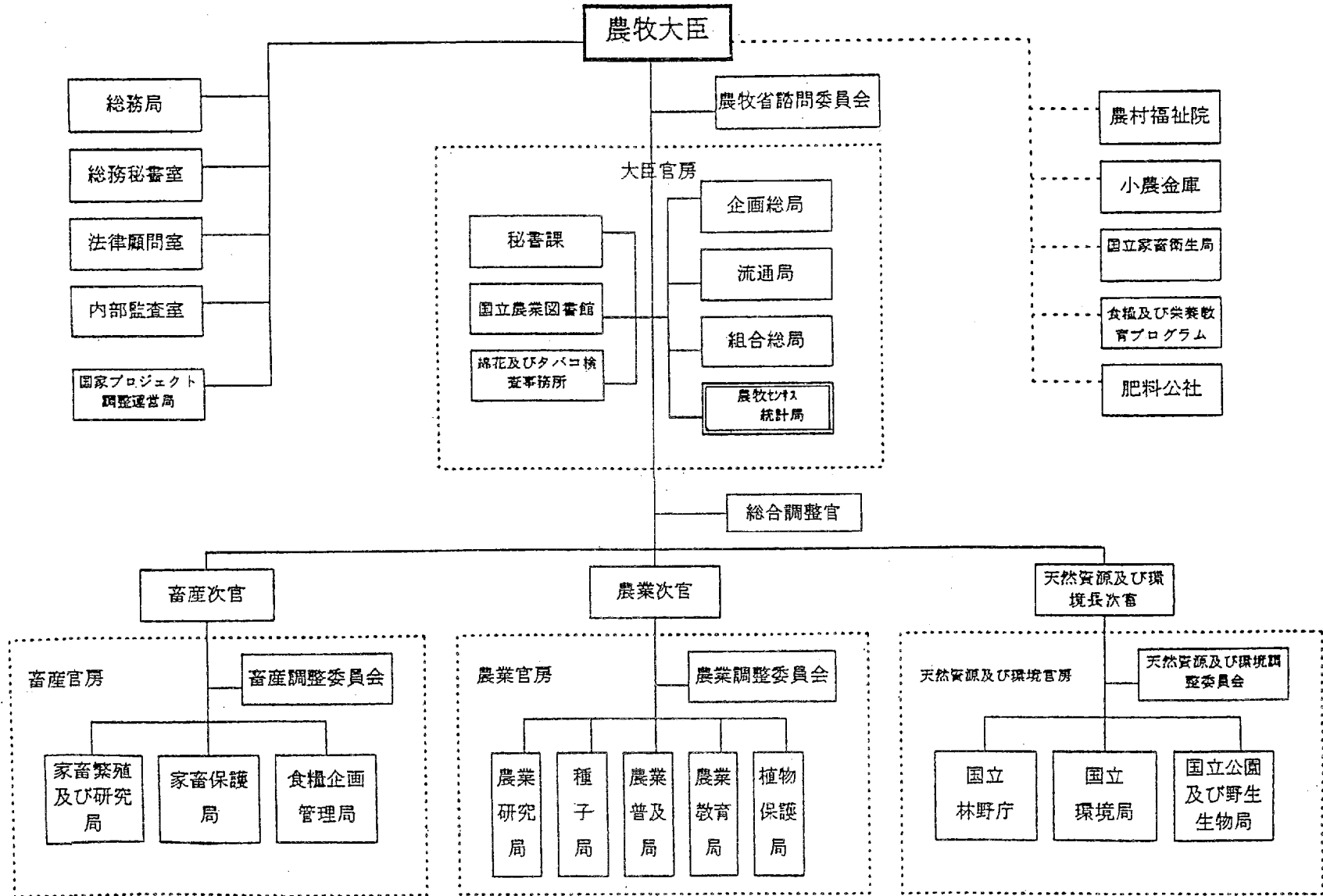
ANEXO IV. PERSONAL DE CONTRAPARTE

1. Gerente de proyecto
2. Personal de contraparte en las áreas de:
 - (1) Planificación de censos
 - (2) Procesamiento de datos
3. Otros personales necesarios de apoyo



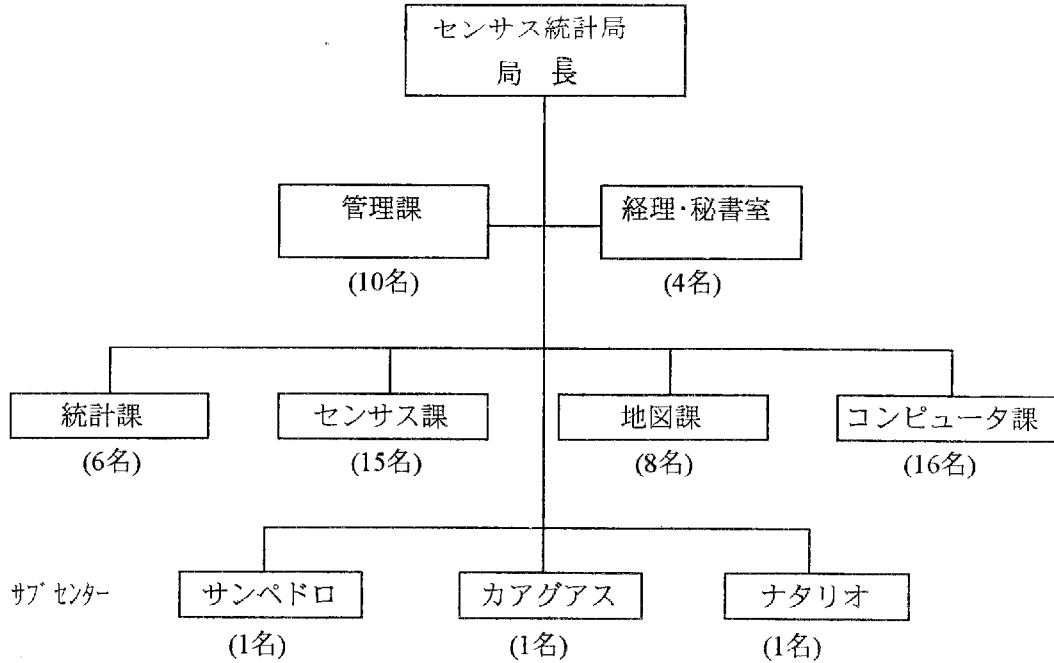
資料 2. 農牧省組織図

農 牧 省 組 織 図

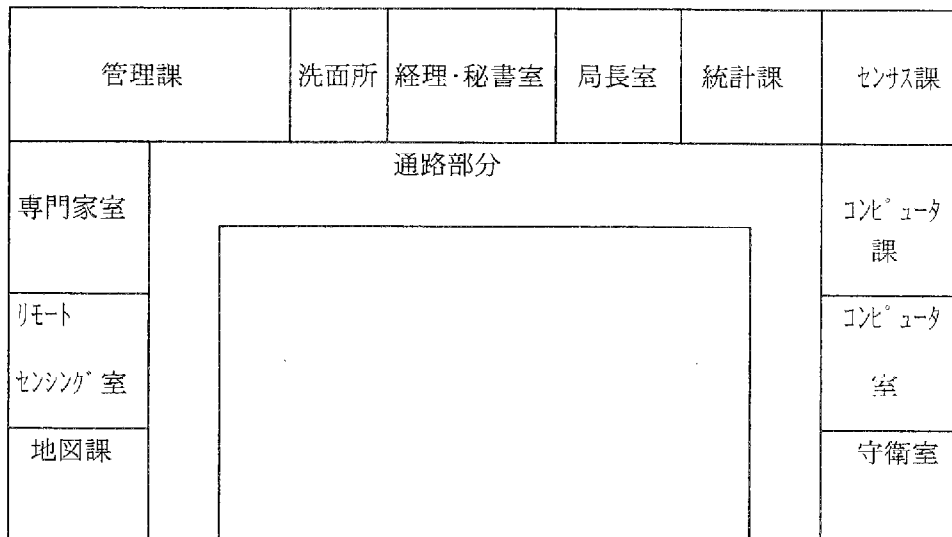


資料3. センサス統計局の組織体系及び職場配置図

1 組織体系



2 職場配置図



資料4. プロジェクトのC/Pの現状

プロジェクトのC/Pの現状

| カウンターパート名 | 日本でのC/P・集団 研修参加実績 | 現在の勤務先 | | |
|----------------------------|----------------------|--------|-----|----|
| | | 局内 | 他部局 | 退職 |
| 1. Raul Ferrari | 94.11 (統計行政) | | × | |
| 2. Humberto Ruiz Diaz | 91.7-9 (集団研修) | × | | |
| 3. Elena H. Masoka | 留学 | × | | |
| 4. Arsenio Mongelos | 90.11-12 (面積調査) | | | × |
| 5. Americo Caceres | | × | | |
| 6. Ceser Blaires | | | | × |
| 7. Francisco Servin | 93.7-9 (集団研修) | × | | |
| 8. Getulio Lopez | 94.1-3 (リモートセンシング) | | | × |
| 9. Wilfrido Garcete | リモートセンシング | × | | |
| 10. Francisco Gonzalez | | | | |
| 11. Gustavo Nunez | 94.7-9 (統計分析) | × | | |
| 12. Rosa M. Vera R. | 90.11-12 (基礎統計) | × | | |
| 13. Marina M. Caballero M. | | × | | |
| 14. Higinio Molinas | | | × | |
| 15. Jorge Torres | 91.11-12 (標本調査) | | × | |
| 16. Jose Serrati | 93.8-10 (畜産調査) | | × | |
| 17. Obaldo Gonzalia | | × | | |
| 18. Federico Pekholtz | 92.1-3 (リモートセンシング) | | × | |
| 19. Estera de los Rios | | 休職中 | | |
| 20. Edgar Maczono | 90.7-9 (集団研修) | | | × |
| 21. Jorge Britz | 90.3-5 (コンピュータ情報) | × | | |
| 22. Jorge Villalba | | | | × |
| 23. Waldemar Coronel | 90.3-5 (コンピュータ情報) | × | | |
| 24. Juan C. Morinigo | | | | × |
| 25. Elena de Cespedes | | | × | |
| 26. Luordes R. Lopez | | | × | |
| 27. Petrona Morinigo | | | | × |
| 28. Edith Lopez | 92/1-3 (コンピュータシステム) | | × | |
| 29. Florencio Colman | 94.7-9 (実測調査) | × | | |
| 30. EdgardoNunez | | × | | |
| 31. Arnoldo Ramirez | | × | | |
| 32. Elvira Florentin | | | | × |
| 33. Maria I. de Congo | | × | | |
| 34. Francisco C. Amerilla | | | × | |
| 35. Omar Campos | | × | | |
| 36. Fransisco C. Argana | 92.7-9 (標本調査) | × | | |
| 37. Jorge Aguero | 93.8-10 (作物調査) | × | | |
| 38. Rual Termy Troche Vera | 92.7-9 (集団研修) | × | | |
| 39. Maria Rosario R. | 96.5-6 (統計分析手法) | × | | |
| 40. Antonio Chamorro | 96.7-9 (集団研修) | × | | |

| | | | | | |
|--------------------------|------------------|--|---|----|----|
| 41. Andres Espinoza | 97.7-9 (集團研修) | | × | | |
| 42. Arnardo Dario R.P. | 98.7-9 (集團研修) | | × | | |
| 43. Mario Gustavo Aguino | 98.8-10 (作物生産予測) | | × | | |
| 44. Aristides Raidan G. | 90.2-3 (農牧統計) | | | × | |
| | | | | 25 | 10 |
| | | | | | 8 |

資料 5. 1999年度調査実施計画表

PLAN DE ACTIVIDADES DE LA D.C.E.A.
MUESTREO ANUALES Y CROP CUTTING AÑO 1999

| ACTIVIDAD | ENERO 1月 | FEBRERO 2月 | MARZO 3月 | ABRIL 4月 | MAYO 5月 | JUNIO 6月 | JULIO 7月 | AGOSTO 8月 | SEPTIEMBRE 9月 | OCTUBRE 10月 | NOVIEMBRE 11月 | DICIEMBRE 12月 |
|--------------------------------|--|--|--|--|--------------------------------------|--------------------------------------|---|---------------------|--|------------------------------|--|-------------------|
| ENCUESTA GANADERA 畜産調査 | | | PREPARATIVOS PARA LA ENCUESTA. 調査準備 | PRE-TEST テスト | 利エンション CURSO DE ORIENTACION 指導 | LEVANTAMIENTO 実行 | CHEQUEO Y PROCESAMIENTO チェック & W. 処理 | | ANALISIS Y ELABORACION DE RESULTADO 分析・合成 | 早期報告 INFORME PRELIMINAR | IMPRESION 印刷 | PUBLICACION 発行 |
| ENCUESTA AGRICOLA 農業調査 | | | | PREPARATIVOS PARA LA ENCUESTA 調査準備 | PRE-TEST テスト | 利エンション CURSO DE ORIENTACION 指導 | LEVANTAMIENTO 実行 | PROCESAMIENTO 処理 | CHEQUEO チェック | 分析 報告表 INFORME PRELIMINAR | 早期報告 IMPRESION 印刷 | PUBLICACION 発行 |
| ACTUALIZ. DE A.E. 調査の更新 | | | | | LEVANTAMIENTO 実行 | | | | | | | |
| ENCUESTA DE LAS EXPLOTAC. 畜産調査 | | | | PREPARATIVOS PARA LA ENCUESTA. 調査準備 | PRE-TEST テスト | 利エンション CURSO DE ORIENTACION 指導 | LEVANTAMIENTO 実行 | | PROCESAMIENTO Y TABULACION 処理 & W. 作業表 | | | |
| CROP CUTTING 刈取り調査 | BOJA (大豆) OBSERVACION EPOCA DE FLORACION 開花期調査 | | OBSERVACION GRADO DE MADURACION 成熟度調査 | LEVANTAMIENTO 実行 | 早期報告 INFORME PRELIMINAR | | TRIGO (小麦) OBSERVACION EPOCA DE FLORACION 開花期調査 | | OBSERVACION GRADO DE MADURACION 成熟度調査 | LEVANTAMIENTO 実行 | 早期報告 INFORME PRELIMINAR | |
| | PREPARATIVOS PARA LA ENCUESTA (綿花) ALGODON (棉花) | LEVANTAMIENTO 実行 | POST ENCUESTA | 早期報告 INFORME PRELIMINAR | | | PREPARATIVOS PARA LA ENCUESTA | | | | | |
| OTROS その他 | | 情報処理研修 CURSO DE PROCESAM. DE DATOS CON PC's | (パソコン) | | | | 99年度E225 10/25 JULIO EXPO 99 | | | | 早期報告 CURSO DE ANALISIS ESTADISTICOS 情報処理研修 | |

資料6. この1年に実施した主要調査の概要

(1998.7~1999.6)

| 調査名 | 調査期日 | 公表日 | 調査実施体制 | 標本調査の内容 | | | | | |
|------------------|-----------|-----------------|--------|---------------|---------------|------------------|---------------|-------------------|--------------------------------|
| | | | | 調査手法 | 母集団 | 抽出方法 | 第1次抽出単位 | 第2次抽出単位 | 主要調査項目 |
| 作物調査 | 1998.7 | 予算なく 調査休止 | 標本調査 | 面接調査 | 91年 農牧センサス | 2段階抽出法 (副次抽出) | 225調査区 | 900経営体 | 作付面積 収穫量 生産事情等 |
| 経営体調査 | 1998.7-8 | 予算なく 調査休止 | 標本調査 | 聞き取り ・面接調査 | 91年 農牧センサス | 2段階抽出法 (地域抽出) | 225調査区 | 450経営体 | 新規・脱落 経営体数 新規経営体等 |
| 刈り取り調査 (小麦調査) | 1998.9-10 | 予算なく 調査休止 | 標本調査 | 実測 ・面接調査 | 91年 農牧センサス | 作付面積 確率比例抽出 | 作付面積 上位14県 | 150経営体 (圃場) | 作付面積 単収 ・収量構成要素 生産事情等 |
| (綿花調査) | 1999.3 | 1999.6 | " | " | " | " | " | 900経営体 (圃場) | |
| (大豆調査) | 1999.4 | 1999.6 | " | " | " | " | " | 150経営体 (圃場) | |
| 畜産調査 | 1999.6 | 1999.12 (予定) | 標本調査 | 面接調査 | 91年 農牧センサス | 層化 任意系統抽出 | 飼養頭数 上位県 | 600経営体 (肉・乳牛別) | 畜産の頭羽数 その他 |

資料 7. 調査用車両現況整理表

| 供与車両 | | 現在の利用状況 | | | | |
|---------------------------|-----------------------|---------|-----|------|-----|----|
| 車種 | 登録番号 | 走行距離 | 統計局 | 他の部局 | 故障中 | 廃棄 |
| 1 Isuzu 2800cc (1) | JACUBS 55FL7103549 | 135,571 | × | | | |
| 2 Isuzu 2800cc (2) | JACUBS 55FL710393 | 122,738 | | | | × |
| 3 Toyota 2800cc (1) | 3L-2191562 | 250,596 | × | | | |
| 4 Toyota 2800cc (2) | 3L-2179261 | 218,241 | × | | | |
| 5 Toyota 2800cc (3) | 3L-2180226 | 115,420 | | | | × |
| 6 Mitsubishi L200 (1) | 4D56-DH4593 | 151,692 | × | | | |
| 7 Mitsubishi L200 (2) | 4D56-DK3717 | 192,582 | × | | | |
| 8 Mitsubishi L200 (3) | 4D56-DT2794 | 144,068 | × | | | |
| 9 Mitsubishi L200 (4) | 4D56-DK5464 | 140,792 | × | | | |
| 10 Mitsubishi L200 (5) | 4D56-DK3146 | 185,789 | × | | | |
| 11 Mitsubishi L200 (6) | 4D56-DK9757 | 135,096 | | | × | |
| 12 Mitsubishi L200 (7) | 4D56-DK5461 | 213,287 | × | | | |
| 13 Mitsubishi L200 (8) | 4D56-DK5073 | 23,491 | | | | × |
| 14 Mitsubishi L200 (9) | 4D56-DK4877 | - | | × | | |
| 15 Mitsubishi L200 (10) | 4D56-DJ4072 | - | | × | | |
| 16 Mitsubishi L200 (11) | 4D56-DJ0852 | - | | × | | |
| 17 Mitsubishi L200 (12) | 4D56-DL3345 | - | | × | | |
| 18 Double Traccion 3000cc | 1KZ-0064278 | 125,050 | × | | | |

資料 8. 主要供与機材等の現況整理表（除く車両）

| 供与機材名 | 現在の保管・利用状況等 | | | | |
|---------------------------|-------------|-----|------|-----|----|
| | センサス統計局内 | | 他の部局 | 故障中 | 廃棄 |
| | コンピュータ課 | その他 | | | |
| MAIN FRAME IBM9375-50 | × | | | | |
| CONSOLE | × | | | | |
| HD 800MB (1) | × | | | | |
| HD 800MB (2) | × | | | | |
| HD 800MB (3) | × | | | | |
| HD 800MB (4) | | | | × | |
| MT 6200BPI (1) | | | | × | |
| MT 6200BPI (2) | | | | × | |
| LINE PRINTER 1600LINE/MIN | × | | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (1) | × | | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (2) | × | | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (3) | × | | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (4) | × | | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (5) | | × | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (6) | | × | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (7) | | × | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (8) | | × | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (9) | | × | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (10) | | × | | | |

| 供与機材名 | サブセンター | | | | |
|--------------------------------|-------------|-----|------|-----|----|
| | 現在の保管・利用状況等 | | | | |
| | センサ統計局内 | | 他の部局 | 故障中 | 廃棄 |
| コンピュータ課 | その他 | | | | |
| TERMINAL IBM PS/2 (11) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (12) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (13) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (14) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (15) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (16) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (17) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (18) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (19) | | | | | × |
| TERMINAL IBM PS/2 (20) | | | | | × |
| IBM PS/2 MODEL 90 (CEA用) | | × | | | |
| | | 統計課 | | | |
| IBM PC-SERVER PENTIUM 90MHZ | × | | | | |
| LAN ADAPTER | × | | | | |
| PC SERVER PENTIUM 133MHZ | × | | | | |
| PC PENTIUM MMX 200MHZ (1) | | × | | | |
| | | 地図課 | | | |
| PC PENTIUM MMX 200MHZ (2) | | × | | | |
| | | 地図課 | | | |
| PC PENTIUM MMX 166MHZ (1) | | × | | | |
| | | 地図課 | | | |
| PC PENTIUM MMX 166MHZ (2) | × | | | | |
| PC ACER DX4 100MHZ (1) | × | | | | |
| PC ACER DX4 100MHZ (2) | × | | | | |

| 供与機材名 | 現在の保管・利用状況等 | | | | |
|----------------------------------|----------------|-----|------|-----|----|
| | センサス統計局内 | | 他の部局 | 故障中 | 廃棄 |
| | コンピュータ課 | その他 | | | |
| PC ACER DX4 100MHZ (3) | × | | | | |
| PC ACER DX4 100MHZ (4) | | × | | | |
| PC ACER 566 66MHZ | | × | | | |
| PC COMPAQ 66MHZ (1) | | × | | | |
| PC COMPAQ 66MHZ (2) | | × | | | |
| PC 486 66MHZ | | × | | | |
| PC PS/1 386-3.11 | × | | | | |
| UPS ASTM-640 | | × | | | |
| UPS ASTM-1000 | 要 × バッテリー交換 | | | | |
| UPS EMERSON 10KVA | | | | × | |
| UPS EMERSON AP 130 3KVA(CEA用) | | × | | | |
| カラープリンター TAKETRONIX一式 | | × | | | |
| 自動印刷機 リ-RC5600型 4カラー | | × | | | |
| 視聴覚機器一式 ビデオカメラ, 編集機器, 他 | | | | | × |
| OHP及び 付属品一式 | | × | | | |
| スライドプロジェクター REFLECTA-AP/Y | | × | | | |
| リモートセンシング用 PS/2 | | × | | | |
| リモートセンシング 関連機器 | | × | | | |
| 複写機 MITA DC3555 | | × | | | |

| 供与機材名 | 現在の保管・利用状況等 | | | | |
|--------------------|-------------|-------------|------|-----|----|
| | センサ統計局内 | | 他の部局 | 故障中 | 廃棄 |
| | コンピュータ課 | その他 | | | |
| 複写機 MITA DC2555 | | × | | | |
| 製本機 | | | | × | |
| 製本機 | | | | × | |
| ファクシミリ 東芝TEP20 (1) | | × サブセンター | | | |
| ファクシミリ 東芝TEP20 (2) | | × サブセンター | | | |
| ファクシミリ 東芝TEP20 (3) | | × サブセンター | | | |
| ファクシミリ 東芝TEP20 (4) | | | | | ? |
| カメラ CANON EOS 1000 | | | | | ? |
| 空調機 日立22000BTU (1) | × | | | | |
| 空調機 日立22000BTU (2) | × | | | | |
| 空調機 日立22000BTU (3) | × | | | | |
| 空調機 日立22000BTU (4) | × | | | | |
| 空調機 日立22000BTU (5) | × | | | | |
| 空調機 日立22000BTU (6) | | × | | | |
| 空調機 日立22000BTU (7) | | × | | | |
| 空調機 日立22000BTU (8) | | × | | | |
| 空調機 日立2400BTU (9) | | | | | × |
| 空調機 日立2400BTU (10) | | | | | × |
| 空調機 日立2400BTU (11) | | × | | | |
| 空調機 日立2400BTU (12) | | × | | | |

| 供与機材名 | 現在の保管・利用状況等 | | | | |
|-------------------------------|-------------|-----|--------|-----|----|
| | センサス統計局内 | | 他の部局 | 故障中 | 廃棄 |
| | コンピュータ課 | その他 | | | |
| 空調機 日立2400BTU (13) | | × | | | |
| 空調機 CONQUEDOR 12000BTU (1) | × | | | | |
| 空調機 CONQUEDOR 12000BTU (2) | | × | | | |
| 空調機 CONQUEDOR 12000BTU (3) | | × | | | |
| ヤマハオートバイ (1) | 現 状 | | | | × |
| ヤマハオートバイ (2) | 現 状 | | | | × |
| ヤマハオートバイ (3) | 現 状 | × | サブセンター | | |
| ヤマハオートバイ (4) | 現 状 | × | サブセンター | | |
| ヤマハオートバイ DT-180Z (5) | | × | サブセンター | | |
| ヤマハオートバイ DT-180Z (6) | | × | 統計局 | | |
| 動力脱芒脱穀機 | | × | 統計課 | | |
| 唐箕 | | × | 統計課 | | |
| 均分器 | | × | 統計課 | | |
| 縦目段篩 | | × | 統計課 | | |
| 秤 (小) | | × | 統計課 | | |
| 穀類粒数測定器 | | × | 統計課 | | |
| 水分検定器(ライスタL型) | | × | 統計課 | | |
| 大豆脱粒機 大屋式(400W) (1) | | × | 統計課 | | |
| 大豆脱粒機 大屋式(400W) (2) | | × | 統計課 | | |

| 供与機材名 | 現在の保管・利用状況等 | | | | |
|-----------------------------|-------------|----------|------|-----|----|
| | センサス統計局内 | | 他の部局 | 故障中 | 廃棄 |
| | コンピュータ課 | その他 | | | |
| 大豆脱粒機 大屋式(200W) (3) | | × 統計課 | | | |
| プリズムアリドール (田村式) (1) | | × 地図課 | | | |
| プリズムアリドール (田村式) (2) | | × 地図課 | | | |
| デジタルプラニメーター (マイコン内蔵) (1) | | × 地図課 | | | |
| デジタルプラニメーター (マイコン内蔵) (2) | | × 地図課 | | | |
| 測量用距離計 (1) | | × 地図課 | | | |
| 測量用距離計 (2) | | × 地図課 | | | |

資料 9. 1999年度新規案件の概要

(1) 要請の背景

パ国の基幹産業である農牧業は、国際価格の変化、メルコスール（南米南部共同市場）加盟等経済環境の変化の中で域内諸国との分業関係の構築、生産競争力への対応、共通利益の保護等複眼的かつ迅速な政策の展開が求められている。このような状況に対応するため農牧業及びこれに関連する情報をこれまで以上に整備していく必要がある。

(2) 要請内容

1) 目標

農牧業分野について、域内外諸国との分業関係の構築、生産競争力への対応、共通利益の保護的複眼的かつ迅速な政策の展開を可能にする。

「農牧統計強化計画」で整備された農牧統計を拡充・展開するとともに、総合統計情報システムを構築する。

2) 活動内容

- ・センサス統計局の総合データベースセンター化及びオンライン化
- ・各種統計データの総合化による年次農業動向報告書の作成
- ・統計調査・研究の充実強化

3) 日本側投入

長期専門家 6人

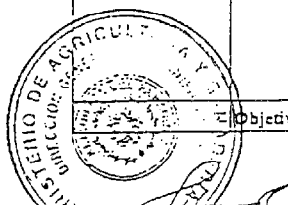
研修員の受入 15人

4) 協力期間

1999年から5年間

SOLICITUD DE ASISTENCIA TECNICA
TIPO-PROYECTO, ESTUDIO CONJUNTO, MINI PROYECTO

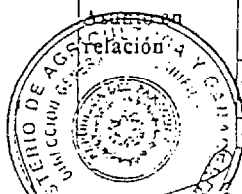
| | | |
|------------------------------------|---|--|
| Nombre o denominación del Proyecto | | (Español): <i>PROYECTO DE GLOBALIZACION DE LAS ESTADISTICAS E INFORMACIONES AGROPECUARIAS</i> (Inglés): |
| Organismo Beneficiario | Organismo Ejecutor | (Español): <i>Ministerio de Agricultura y Ganadería, Dirección de Censo y Estadísticas Agropecuarias</i> (Inglés): |
| | Nombre del Ministerio o de la Autoridad Encargada | (Español): <i>Ministerio de Agricultura y Ganadería, Dirección de Censo y Estadísticas Agropecuarias</i> (Inglés): |
| | Resumen de sus principales actividades (jerarquía, atribuciones, contenido de sus actividades, monto del presupuesto asignado anualmente a dicho Organismo) | |
| Antecedente | Antecedente, objetivos y contenido de la solicitud. (Objetivo del proyecto resultado, beneficiarios, etc.) | <p><i>La actividad clave del país es la agropecuaria representando el 26% del PIB, el 40% del empleo y el 90% de la exportación.</i></p> <p><i>Para el fomento de las actividades agropecuarias, el mejoramiento de la vida rural y el desarrollo agrícola, es indispensable el mantenimiento de una estadística agropecuaria de alta confiabilidad, como base de referencia. A partir de la cooperación técnica ejecutada durante cinco años, que se inició en marzo 1990, dentro del marco del "Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias", la estadística agropecuaria del país viene ofreciendo datos de alta confiabilidad, a las principales esferas de decisión, manteniendo un régimen de estudios estadísticos básicos relacionados con la estructura de la producción agropecuaria, a partir de los resultados obtenidos en el censo agropecuario (ejecutado cada 10 años) y de las encuestas anuales por muestreo.</i></p> <p><i>Con la adhesión al MERCOSUR, la economía paraguaya se ve expuesta a grandes cambios.</i></p> <p><i>Al respecto, existe la necesidad de desarrollar una política de respuestas rápidas y de amplia visión, coherente con respecto a los países adheridos en aspectos como los de ayuda mutua, división de trabajos, dura competencia de producción, protección del beneficio común con respecto a los demás países, etc.</i></p> <p><i>Para dicho desarrollo político, se requiere el establecimiento de un sistema eficiente de oferta y uso, que facilite el acceso rápido a la estadística general, no solamente a los estudios estadísticos actuales.</i></p> <p><i>La sistematización general de la base de datos de los estudios estadísticos agropecuarios en primer lugar, de la Administración Central e informaciones estadísticas relacionadas a las actividades agropecuarias de los países pertenecientes o no al MERCOSUR.</i></p> <p><i>Para comprender la influencia de las actividades económicas relacionadas con las agropecuarias debido a la adhesión al MERCOSUR, es necesario comprender la situación económica global de las explotaciones agropecuarias. Desde este punto de vista, se necesita urgentemente el mantenimiento de estadísticas de comercialización, y estadística económica de las explotaciones agropecuarias (especialmente precio de compra y venta de los productos agropecuarios en las explotaciones, precio de compra de los insumos para la producción, etc.)</i></p> |
| | Objetivo y contenido del Proyecto | <i>Dentro del contexto de los requerimientos del MERCOSUR,</i> |



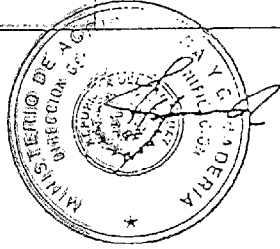
| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| | | <p>en la obtención de informaciones sobre las actividades agropecuarias que serán cambiantes y para la adopción de políticas agropecuarias eficientes, los objetivos son los siguientes.</p> <p>(1) Ampliación y desarrollo de la estadísticas agropecuaria mantenida hasta el presente.</p> <p>(2) Colección y actualización general de informaciones estadísticas aún más amplias (incluyendo las informaciones de los países adheridos o no al MERCOSUR). Construcción de un centro de base de datos y sistema de red "on line", para que los usuarios (Organismos del MAG, etc.) tengan acceso al mismo en forma rápida y fácil.</p> <p>(3) Confección de un informe anual sobre las actividades agropecuarias, unificado, elaborado y analizado en base a las distintas fuentes de información estadística.</p> <p>(4) Capacitación del personal para responder a los objetivos anteriores.</p> |
| Objetivo y contenido del Proyecto | Numero de Experto deseado y su especialidad | <p>1-Lider de proyecto</p> <p>2-Planificación y diseño del sistema de base de datos</p> <p>3-Estadísticas de Comercialización</p> <p>4-Planificación</p> <p>5-diseño de estudios estadísticos y análisis económico</p> <p>6-coordinador.</p> |
| | Numero de becarios deseado y su especialidad | Aproximadamente 2 a 3 becarios por año, seleccionado dentro del equipo de contraparte técnico, de acuerdo a los requerimientos del proyecto |
| | Donación de Equipos y maquinarias (especificar tipo o especie, monto aproximado, etc.) | <p>Sistema de base de datos y construcción 2.000.000 US\$</p> <p>Establecimiento de Sistemas de Información Geográfico 300.000 US\$</p> <p>Ampliación de instalación para centro de datos 300.000 US\$</p> <p>Equipos y maquinarias para encuesta 300.000 US\$</p> <p>Equipos necesarios para cursos 100.000 US\$</p> <p>Total aproximado= 3.000.000 US\$</p> |
| | Existe o no de solicitud de solicitud de Cooperación Financiera de tipo No Reembolsable | No existe |

| | | |
|-------------------------|--|---|
| Actividades en relación | Estado en que se encuentran las instalaciones base. Especificar si serán utilizados instalaciones preexistente, o se construirá otras nuevas. | <p>a. Uso del establecimiento preexistente: Utilización de las infraestructuras edicias existente y en buen estado.</p> <p>b. Construcción de un nuevo establecimiento</p> <p>Uso del Centro de Estadísticas Agropecuarias (CEA) preexistente y ampliación del establecimiento para centro de datos en los alrededores de dicho centro o dentro del mismo predio.</p> |
| | Existencia de personal capacitado para ocupar el puesto de C/P, (Incluir antecedentes profesionales). Cuenta con presupuesto necesario para el mismo (especificar) | Serán seleccionados Contraparte de alto nivel en sistema general de base de datos, para sistema de red informaciones estadísticas, análisis general, 4 para estadísticas de comercialización, para estadística de la economía, entre otros |
| | Relación con otra Cooperación del Japón | Ejecución del "Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias". Marzo de 1990 a febrero de 1995. |

| | |
|--|---|
| Existencia de Cooperación de terceros países u otros organismos Internacionales. Contenido de las mismas | No |
| Lugar que ocupa dentro del Plan Nacional de Desarrollo | Actividad prioritaria considerada dentro del Programa de Modernización del MAG. |
| Orden de prioridad | Embajada prioridad No..... |



| | | |
|--------------------------|--|----------------------------|
| | | Gobierno prioridad No..... |
| Opiniones de la Embajada | | |



アフターケアとして、再度要請されたもの



PRESIDENCIA DE LA REPUBLICA
Secretaría Técnica de Planificación

Asunción, 31 de mayo de 1999

PR/DCTI/N° 839 /99

Señor
Ministro:

Ref.: Solicitud de Apoyo Posterior "Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias"

Tenemos el honor de dirigirnos a Vuestra Excelencia, con relación a nuestra nota PR/DCTI/N° 1770/98, en ocasión de hacer referencia a la cooperación técnica que brinda el Gobierno del Japón al Paraguay.

En dicha nota se han presentado las priorizaciones de las solicitudes de cooperación técnica entre las cuales se encontraba el pedido de Ministerio de Agricultura y Ganadería (MAG), Proyecto de Globalización de las Estadísticas e Informaciones Agropecuarias, bajo la modalidad cooperación técnica tipo proyecto.

Al respecto, el Ministerio de Agricultura y Ganadería (MAG) ha optado por cambiar la mencionada solicitud de proyecto por la del "Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias", bajo la modalidad Apoyo Posterior (After care).

En base a lo expuesto, solicitamos a Vuestra Excelencia transmitir a la Embajada del Japón en nuestro país la solicitud del apoyo posterior al proyecto de referencia.

Sin otro particular, hacemos propicia la ocasión para saludar a Vuestra Excelencia con nuestra consideración más distinguida.



Armando Hermosilla
ARMANDO HERMOSILLA
Secretario Ejecutivo

A Su Excelencia
DR. MIGUEL ABDON SAGUIER, Ministro
Ministerio de Relaciones Exteriores

E. S. D.

MRD/PS

SOLICITUD DE ASISTENCIA TECNICA

AFTER CARE

| | | |
|------------------------------------|---|---|
| Nombre o denominación del Proyecto | (Español): <i>PROYECTO DE FORTALECIMIENTO DE LAS ESTADÍSTICAS AGROPECUARIAS</i> (Inglés): | |
| Organismo Beneficiario | Organismo Ejecutor | (Español): <i>Ministerio de Agricultura y Ganadería, Dirección de Censos y Estadísticas Agropecuarias</i> (Inglés): |
| | Nombre del Ministerio o de la Autoridad Encargada | (Español): <i>Ministerio de Agricultura y Ganadería, Dirección de Censos y Estadísticas Agropecuarias</i> (Inglés): |
| | Resumen de sus principales actividades (jerarquía, atribuciones, contenido de sus actividades, monto del presupuesto asignado anualmente a dicho Organismo) | <i>Organización bajo control directo del Ministerio y Organismo oficial de estudios estadísticos del Ministerio de Agricultura y Ganadería. La Dirección tiene como principales actividades la ejecución del Censo Agropecuario Nacional (Realizado cada 10 años) y las encuestas anuales por muestreo para la recopilación de los datos agropecuarios. La encuesta agrícola para la obtención de la producción y superficie de los principales cultivos, aprovechamiento de la tierra, etc., de esta manera actualizar los datos de la actividad agrícola que permite conocer la estructura de la producción. La encuesta de las explotaciones agropecuarias por muestreo para la obtención del movimiento de las mismas e investigación del uso de sensores remotos para la obtención de la superficie cultivada y cosechada. Estudio de rendimiento a través de crop cutting para la determinación del rendimiento a campo de los cultivos de soja, trigo y algodón, además de obtener datos básicas de variables relacionadas con la productividad de los cultivos. Presupuesto para 1998 fue de 1.394.459.200Gs.</i> |
| Antecedente | Antecedente, objetivos y contenido de la solicitud (Objetivo del proyecto, resultado, beneficiarios, etc.) | <i>A partir de la cooperación técnica ejecutada durante cinco años, que se inició en marzo 1990, dentro del marco del "Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias", la estadística agropecuaria del país viene ofreciendo datos de alta confiabilidad, a los principales esferas de decisión, manteniendo un régimen de estudios estadísticos básicos relacionados con la estructura de la producción agropecuaria, a partir de los resultados obtenidos en el censo agropecuario (ejecutado cada 10 años) y de las encuestas anuales por muestreo. Por consiguiente el Gobierno del Paraguay, se encuentra abocado en la preparación del Censo Agropecuario Nacional 2001, aún con graves problemas económicos y con el inconveniente de que los equipos informáticos de oficina y vehículos automotor ya se encuentran en la etapa final de su vida útil, necesitando algunas reparaciones y otros necesariamente ya deben ser renovados. Cabe destacar la importancia que representa para el país la Ejecución del Censo Agropecuario Nacional 2001, pues mediante el cual se podrá recabar datos sobre la realidad Agropecuaria Nacional que será punto de partida para proyectar planes económicos y servirá de base para las posteriores Encuestas Agropecuarias por muestreo. Por los motivos expuestos, el Gobierno del Paraguay solicita al Gobierno del Japón la ayuda Posterior al Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias.</i> |

| | | |
|-----------------------------------|---|--|
| | Objetivo y contenido de la solicitud | <p><i>Cabe destacar que para la ejecución del Censo Agropecuario Nacional 2001 servirá de gran ayuda la experiencia adquirida durante el levantamiento del Censo Agropecuario Nacional 1991, realizado en el marco de la cooperación del Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias. Sin embargo, con la adhesión al MERCOSUR, urge la necesidad de una amplia información sobre las explotaciones agropecuarias para su comparación con los demás países miembros. Y los cambios presentados en los últimos años en el área de la informática, esto hace que para ejecutar dicho censo la institución necesita modernizar su sistema informática. Además, es sabido que la cartografía es la base del éxito del censo; nuestro país, aún se encuentra bastante atrasado en esta materia y precisa una urgente actualización de su cartografía.</i></p> <p><i>Por todo lo expuesto, sería de gran ayuda para la D.C.E.A., contar con el asesoramiento de los expertos para la planificación y diseño del censo, planificación del sistema de tabulación y la cartografía digital.</i></p> |
| Objetivo y contenido del Proyecto | Número de Experto deseado y su especialidad | <p><i>Un experto en planificación y diseño del censo, un experto en planificación y diseño de sistema de tabulación y un experto en cartografía digital.</i></p> <p><i>Total 3 expertos.</i></p> |
| | Número de becarios deseado y su especialidad | <p><i>Aproximadamente 2 o 3 becarios por año, seleccionado dentro del equipo de contraparte técnica, de acuerdo a los requerimientos.</i></p> |
| | Donación de Equipos y maquinarias (especificar tipo o especie, monto aproximado, etc.) | <p><i>Computadora y sus accesorios, mantenimiento y la reparación de los vehículos.</i></p> |
| | Existe o no de solicitud de Cooperación Financiera de tipo No Reembolsable | <p><i>No existe</i></p> |
| Actividades en relación | Estudio en que se encuentran las instalaciones base. Especificar si serán utilizadas instalaciones preexistentes, o se construirá otras nuevas. | <p><i>Uso del establecimiento preexistente: Utilización de las infraestructuras edilicias existente y en buen estado.</i></p> |
| | Existencia de personal capacitado para ocupar el puesto de CP, (incluir antecedentes profesionales). Cuenta con presupuesto necesario para el mismo (especificar) | <p><i>Serán seleccionados Contraparte de alto nivel, 4 contraparte para sistema informático, 4 para planificación y diseño de censo, 3 para cartografía digital.</i></p> <p><i>Total 11 contrapartes.</i></p> |
| | Relación con otra Cooperación del Japón | <p><i>Ejecución del "Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias". Marzo de 1990 a febrero de 1995.</i></p> |
| Asunto en relación | Existencia de Cooperación de terceros países u otros organismos Internacionales. Contenido de las mismas | <p><i>No existe</i></p> |
| | Lugar que ocupa dentro del Plan Nacional de Desarrollo | <p><i>Actividad prioritaria considerada dentro del Programa de Modernización del MAG.</i></p> |
| | Orden de prioridad | <p><i>Embajada prioridad No.....</i></p> <p><i>Gobierno prioridad No.....</i></p> |
| Opiniones de la Embajada | | |

SOLICITUD DE PROYECTOS DE ASISTENCIA TÉCNICA A LA JICA

AÑO 1999

I. Informaciones Básicas

| | | | |
|---------------------|--|--|--|
| País | Paraguay | No. de Programa | |
| Clasificación | a. Nuevo b. Continuación c. Resolicitar | No. de los documentos oficiales Relacionados | |
| Nombre del Programa | (Español): PROYECTO DE FORTALECIMIENTO DE LAS ESTADÍSTICAS AGROPECUARIAS (Inglés) | | |

II. Resumen de la Solicitud del País Beneficiario

| | | | |
|--|---|--------------|--|
| Temas sobre el Desarrollo y su relación con el presente programa | <i>Dentro de las políticas de Desarrollo Sectorial, la disponibilidad de informaciones estadísticas suficientes, información de mercados, difusión de las informaciones, entre otros, constituye una de las estrategias más importante para el desarrollo y la competitividad del sector.</i> | | |
| Organismo Ejecutor | (Español) Ministerio de Agricultura y Ganadería. Dirección de Censo y Estadísticas Agropecuarias (Inglés) | | |
| Organismo Relacionado | (Español) (Inglés) | | |
| Año Meta | Área del Proyecto | Todo el País | |
| Solicitud Oficial | a. Solicitud global, c. No existe, d. Solicitud parcial, d. Otros (u) | | |
| Origen de la solicitud | a. Gobierno Beneficiario, b. Embajada, c. JICA, d. Expertos, e. Proyecto, f. Anteriores o Estudios relacionados, g. Otros (u) | | |
| Relación con otras actividades | Nombre del Proyecto: Proyecto de Fortalecimiento de las Estadísticas Agropecuarias, finalizado en 1995, y el programa de envío de Expertos individuales de corto y largo plazo Grado de conexión: Se duplica - Se complementa - Continuación | | |

III. Contenido del Programa

| | |
|---|---|
| Objetivo General | <i>Recopilar, disponer y divulgar información estadística oportuna, completa y confiable sobre el sector agropecuario, a ser utilizada en el proceso de formulación de proyectos de desarrollo, así como para la toma de decisiones por parte de usuarios del sector público o privado.</i> |
| Objetivos del Programa (Objetivo propuesto mediante la ejecución del presente programa) | (1) La ejecución del Censo Agropecuario Nacional 2001. (2) Confección de informe anual sobre las actividades agropecuarias, unificado, elaborado y analizado en base a las distintas fuentes de información estadística. (3) Capacitación del personal para responder a los objetivos anteriores. |
| Resultados Esperados (Resultados previstos hasta la culminación de; año meta) | <i>Disponer y divulgar información estadística oportuna, completa y confiable sobre el sector agropecuario.</i> |
| Propuesta de actividades (insuño) | |

IV. Propuesta de Actividades (Insumos)

| Tipo de actividad | Nombre del Organismo Ejecutor | Nivel de prioridad | Número correspondiente registrado | Año de solicitud | | | | | | |
|---|---|--------------------|-----------------------------------|------------------|----|----|----|----|----|----|
| | | | | 98 | 99 | 00 | 01 | 02 | 03 | 04 |
| <i>Cooperación Técnica Tipo-Proyecto (After care)</i> | Ministerio de Agricultura y Ganadería, Dirección de Censos y Estadísticas Agropecuarias | 1 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| Estudio para el Desarrollo | | | | | | | | | | |
| Cooperación Financiera Reembolsable | | | | | | | | | | |
| Cooperación financiera No reembolsable | | | | | | | | | | |

V- Comentarios Externos

| | |
|---|-----------|
| Prioridad del País Beneficiario | A - B - C |
| Prioridad de la Embajada | A - B - C |
| Comentarios | |
| Prioridad de la JICA | A - B - C |
| Comentarios | |
| Política de ejecución del País Beneficiario | A - B - C |
| Eficacia de la Cooperación | A - B - C |
| Estado de Seguridad | A - B - C |

資料10. 集推計システムの構築案及び見積り

| | | | |
|---|---|------|----------|
| 1 | ホスト本体関連 | (小計) | \$70,819 |
| | (1) ハードウェア | | |
| | ア AS/400e サーバーモデル720 [9406-720] | 1台 | \$33,750 |
| | ・ 対話型カード搭載 | | |
| | ・ CD-ROM搭載 | | |
| | ・ 4.19 GBハードディスク搭載 | | |
| | ・ イーサネットアダプター搭載 | | |
| | ・ OS/40初期導入済み | | |
| | ・ プロセッサ機構 (IWAY) [#2061] | | |
| | イ PCI V2.46mケーブル [#0348] | 1台 | \$150 |
| | ウ PCIオペレーションコンソールケーブル (6m) [#0367] | 1台 | \$150 |
| | エ PCI コントローラ [#2809] | 1台 | \$2,160 |
| | オ 4GB1/4 インチカートリッジ・テープ機構 [#6382] | 1台 | \$1,560 |
| | カ 4.19GBハードディスク機構 [#6807] | 3台 | \$3,780 |
| | (2) ソフトウェア | | |
| | ア OS/400バリュースタック [5716-VP1] | 1台 | \$10,500 |
| | イ ADTS/400 (クライアント・サーバ開発ツールキット) [5716-PW1] | 1個 | \$4,204 |
| | ウ ILE RGB/400 (RGB言語) [5716-PG1] | 1個 | \$3,696 |
| | エ ILE COBOL/400 (COBOL言語) [5716-CB1] | 1個 | \$3,364 |
| | オ AS/400ソフトウェア・アップデート年額料金 (一括払い) 方式 [5716-SM1] | 1個 | \$2,155 |
| | (3) コンピューター操作及びプログラム作成のための各種研修等 | | \$5,350 |
| 2 | プリンター | (小計) | \$20,218 |
| | (1) IBM 6400プリンター [6400-010] | 2台 | |
| | (英数字専用ドットマトリックスラインプリンター) | | |
| | (2) 10Base イーサネット・カード | 2個 | |
| 3 | パーソナルコンピュータ (入力端末機) | (小計) | \$23,235 |
| | (1) IBM PC 300GL | 15台 | \$16,560 |
| | ・ プロセッサ : Pentium II 400MHZ | | |
| | ・ 標準メモリー : 32MB | | |
| | ・ 外部キャッシュ・メモリー : 256KB | | |
| | ・ ハードディスク : 4.2GB | | |
| | ・ バス・アーキテクチャー : ISA/PCI | | |
| | ・ インターフェース : パラレルポート×1, シリアルポート×2 | | |
| | ・ ビデオROM : 4MB | | |
| | ・ 初期導入済みOS : Windows98 | | |
| | ・ 初期導入済みソフトウェア : Netfinityサービスプログラム, Lan Client Manager, Cosession, DMI V2.0, ConfigSafe, IBM Antivirus | | |
| | (2) 14インチカラー・モニター (SVGA対応) | 15個 | \$3,795 |
| | (3) Wake on Lan対応Ethernet 100/10アダプター | 15個 | \$1,350 |
| | (4) 32MBメモリー (SIMM) | 15個 | \$1,530 |
| 4 | UPSのバッテリー交換 | (小計) | \$1,400 |

| | | |
|---------|------------|-------------|
| (合 計) | | \$ 115,672 |
| (円換算合計) | 1ドル=125円換算 | ¥14,459,000 |

資料11. 調査用車両の更新・整備及びその他所要機材の見積り

円換算額
(1\$=125円)

1. 更新

| | | | |
|---|----------------|------------|------------|
| Toyota Hilux LN106L Cabina Doble Traccion Doble | | | |
| 購入費計 | @26,850 USD 2台 | 53,700 USD | ¥6,712,500 |

2. 整備

| | 部品代(Gs) | 技術料(Gs) | |
|---------------------------|------------------|-------------------|-------------|
| 1 Isuzu 2800cc (1) | 6,022,500 | 1,320,000 | |
| 2 Isuzu 2800cc (2) | 20,191,600 | 2,640,000 | |
| 3 Toyota 2800cc (1) | 7,539,400 | 1,320,000 | |
| 4 Toyota 2800cc (2) | 7,189,600 | 1,320,000 | |
| 5 Toyota 2800cc (3) | 13,347,400 | 2,640,000 | |
| 6 Mitsubishi L200 (1) | 6,658,300 | 1,320,000 | |
| 7 Mitsubishi L200 (2) | 6,539,500 | 1,320,000 | |
| 8 Mitsubishi L200 (3) | 6,495,500 | 1,320,000 | |
| 9 Mitsubishi L200 (4) | 6,429,500 | 1,320,000 | |
| 10 Mitsubishi L200 (5) | 6,429,500 | 1,320,000 | |
| 11 Mitsubishi L200 (6) | 7,034,500 | 1,320,000 | |
| 12 Mitsubishi L200 (7) | 6,649,500 | 1,320,000 | |
| 13 Mitsubishi L200 (8) | - | - | |
| 14 Mitsubishi L200 (9) | - | - | |
| 15 Mitsubishi L200 (10) | - | - | |
| 16 Mitsubishi L200 (11) | - | - | |
| 17 Mitsubishi L200 (12) | - | - | |
| 18 Double Traccion 3000cc | 9,546,900 | 990,000 | |
| タイヤ | 345,000 | | |
| タイヤ | 290,000 | | |
| タイヤ | 255,000 | | |
| 補充部品 | 3,891,000 | | |
| | <u>4,781,000</u> | <u>19,470,000</u> | |
| 整備費・部品費計 | | 24,251,000 | ¥5,372,988 |
| 車両計 | | | ¥12,085,488 |

3. 購入

| | | | |
|-------|--------------|-----------|------------|
| リソグラフ | @15,400USD | 15,400USD | ¥1,925,000 |
| コピー機 | @5,800USD 2台 | 11,600USD | ¥1,450,000 |
| 事務機器計 | | | ¥3,375,000 |

合計 ¥15,460,488